

ご利用ドメイン	
メールサーバー	mail.お客様のドメイン名
FTPサーバー	ftp.お客様のドメイン名
Web管理者アカウント/ユーザーID	
Web管理者アカウント/パスワード	
コントロールパネルのURL	https://お客様のドメイン名:8443/
Perlパス	/usr/bin/perl
Sendmailパス	/usr/sbin/sendmail

コントロールパネル ..... 4

- 1. コントロールパネルの基本 ..... 4
  - 1.1 コントロールパネルへのログイン ..... 4
  - 1.2 コントロールパネルの画面レイアウト ..... 5
  - 1.3 ログアウト ..... 6
- 2. レポートの閲覧 ..... 6
  - 2.1 レポート画面の起動 ..... 6
- 3. ログファイルの閲覧 ..... 7
- 4. ログファイルの保存 ..... 9
- 5. ファイルマネージャ ..... 10
- 6. パーミッションの変更 ..... 12
  - 6.1 ファイルマネージャを使ったパーミッションの変更 ..... 12
  - 6.2 FILEZILLA を使ったパーミッションの変更 ..... 13

WEB サイト公開 ..... 14

- 1. ディレクトリ構成 ..... 14
- 2. ファイルのアップロード ..... 15
  - 2.1 FILEZILLA の設定 ..... 16
  - 2.2 WEB ページのアップロード ..... 17
  - 2.3 アップロードしたページにアクセスする ..... 18
- 3. ファイルのアップロード (MAC ご利用の場合) ..... 18
- 4. ホームページビルダーの設定 ..... 20
- 5. サイトのプレビューを行う ..... 22
- 6. WEB の統計を確認する ..... 23
  - 6.1 ログ解析を行うためには ..... 23
  - 6.2 月の詳細なアクセス状況を表示 ..... 24
- 7. オリジナルエラー画面を表示する ..... 29
- 8. SSL でのサイトアクセス ..... 33
- 9. アクセス認証が必要なページを設定する ..... 33
  - 9.1 保護ディレクトリ (フォルダ) を作成する ..... 34
  - 9.2 アクセス用ユーザーの追加 ..... 35
  - 9.3 保護ディレクトリ (フォルダ) にファイルをアップロードする ..... 35
  - 9.4 特殊URLアクセスへの対応 ..... 36
- 10. IPアドレスによるアクセス制限 ..... 38
  - 10.1 コントロールパネルからアクセス制限を行う方法 ..... 38
- 11. 高機能アクセス解析を利用する ..... 39

**Eメールの設定 ..... 44**

- 1. メールアドレスの作成 ..... 44
  - 1.1 メールアドレス作成画面の起動..... 44
  - 1.2 メールアドレス作成 ..... 45
- 2. メールボックスパスワードを変更する ..... 47
- 3. WINDOWS メールの設定..... 48
- 4. BECKY! の設定 ..... 55
- 5. THUNDERBIRD の設定 ..... 57
- 6. MAC OSX MAIL の設定 ..... 61
- 7. メールエイリアスを作成する..... 63
- 8. メーリングリストの利用..... 64
  - 8.1 メーリングリストの作成..... 64
  - 8.2 メーリングリストへのメンバ登録 ..... 66
  - 8.3 REPLY-TO の設定 ..... 67
- 9. メールを他のアドレスへ転送する..... 68
- 10. メール自動応答の設定をする ..... 69
- 11. ウイルスソフトの設定をする ..... 70
- 12. WEB メールを利用する..... 71
  - 12.1 ログイン ..... 71
  - 12.2 メールの送信..... 72
- 13. スпамフィルタの設定をする ..... 73

**データベースの操作 ..... 77**

- 1. データベースを作成する..... 77
  - 1.1 データベースの新規作成 ..... 77
  - 1.2 データベースユーザの新規作成..... 78
  - 1.3 データベースユーザの削除 ..... 79
- 2. PHP MY ADMIN の画面概要 ..... 80

# コントロールパネル

コントロールパネルとは、サーバーに関する各種設定をブラウザ上から行うことが出来るソフトウェアです。コントロールパネルを利用することによって、サーバーに関する専門的な知識が無くてもレンタルサーバーを簡単に使うことが可能です。ブラウザ上から必要な項目を入力するだけで、メールアカウントを作成したり Web サイトを構築したりすることが出来ます。

## ■1. コントロールパネルの基本

### 1.1 コントロールパネルへのログイン

レンタルサーバーを実際に操作するには、コントロールパネルにログインする必要があります。コントロールパネルへのログインは表紙の「コントロールパネルの URL」から可能です。

- ログインの欄 → ユーザーID
- パスワード → パスワード をそれぞれ入力し、ログインします。

Plesk 8.3 にログインします

ログイン名を「ログイン」に、パスワードを「パスワード」フィールドに入力し、「ログイン」をクリックして下さい

ログイン

パスワード

インターフェース言語

[パスワードを忘れましたか?](#)

ログインボタンをクリックすると、以下のような画面が起動します。メールアドレスの追加などの設定はコントロールパネルから行います。

(メールアドレスの追加については 44 ページをご覧くださいませ)

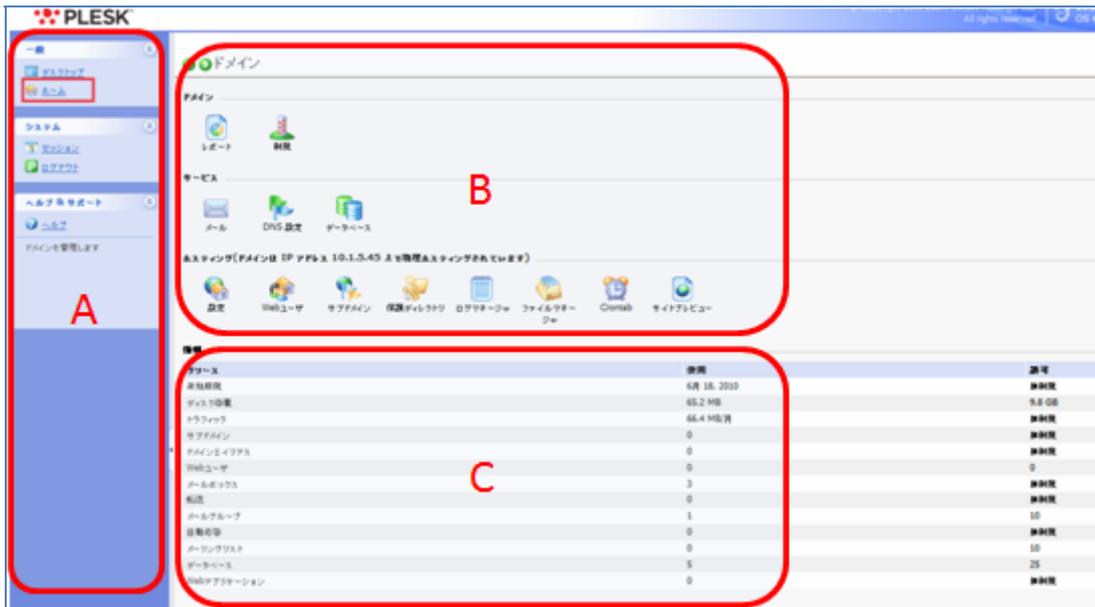
アクセス時に証明書に関するセキュリティ警告が出ることがありますが、特に安全上は問題ございませんので、そのまま「OK」ボタンをクリックしてください。



## 1.2 コントロールパネルの画面レイアウト

管理ツールからコントロールパネルにログインをし、左の「ホーム」をクリックすると以下のような画面が表示されます。

ここから、サーバーの状況確認及び操作が可能です。



おもに3つのパネルから成り立っており、それぞれ以下のような機能を持っています。

### A:ナビゲーションパネル

全画面を通じて常に表示されているパネルです。ここから「ホーム（ログインして最初に表示されている画面）」に戻ったり、ヘルプを参照したりすることが可能です。

### B:操作パネル

アイコンをクリックして各種操作を行います。メールアドレスの追加やログ確認などを簡単に行うことが出来ます。操作の詳細に関してはマニュアルの各項目をご覧くださいませ。

## C:情報パネル

現在の契約状況やサーバー状況が表示されます。ここを見れば、サーバーが現在どのような状態にあるか簡単に確認できます。

### 1.3 ログアウト

サーバーの操作が終了したらログアウトしてください。ログアウトは「ナビゲーションパネル」の「ログアウト」リンクから可能です。



ログアウトすると、コントロールパネルのログイン画面に戻ります。

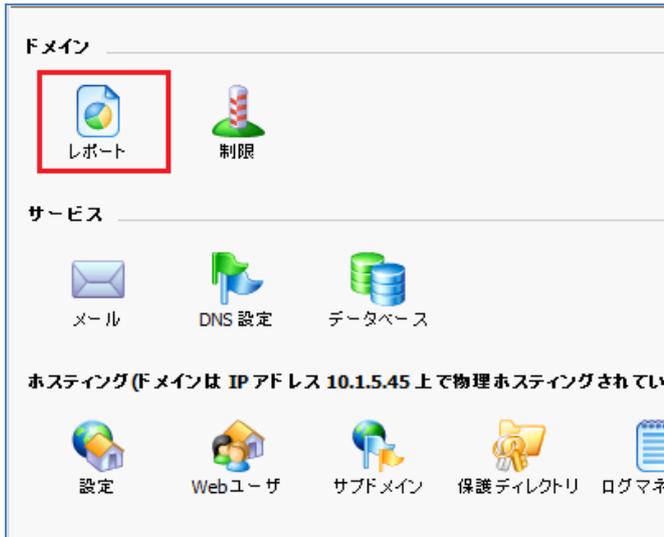
## ■2.レポートの閲覧

サーバーのハードディスク使用状況などは毎日変化します。特に複数のメールアドレスを作成して使っている場合などは、日々ディスク容量を確認する必要があります。コントロールパネルからサーバの状況を確認することが可能です。

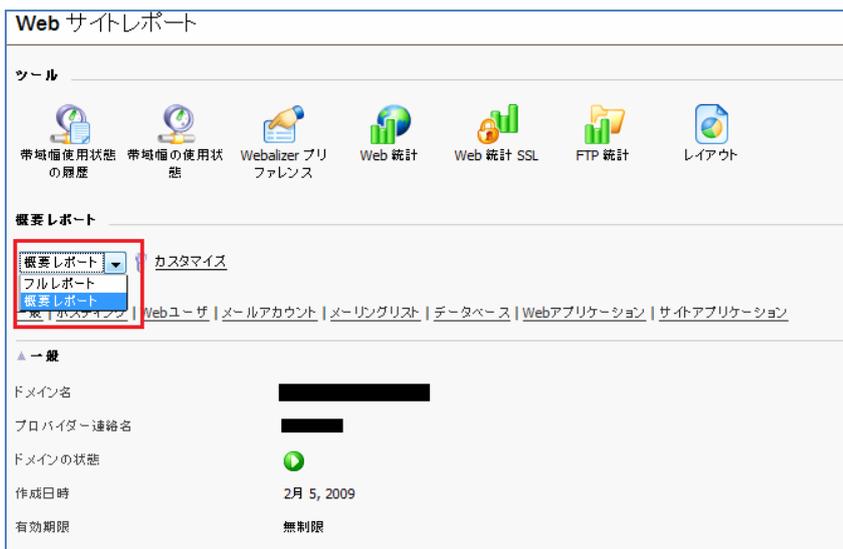
なおコントロールパネルへのログイン方法に関しては4ページをご覧ください。

### 2.1 レポート画面の起動

1) コントロールパネルにログインしたら操作パネルから「レポート」アイコンをクリックしてください。



2) レポートの種類は「概要レポート」と「フルレポート」の 2 種類ありますので、閲覧したい方を選択してください。



※概要レポート：ドメイン全体の概要です。

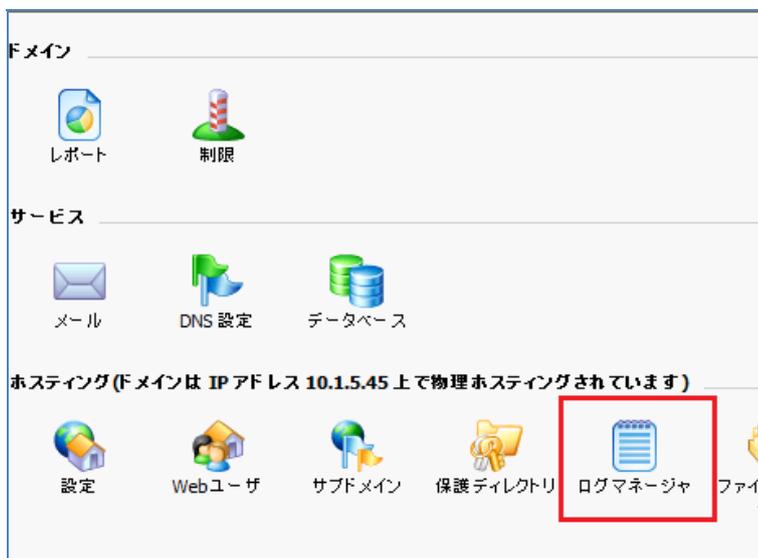
※フルレポート：各メールアドレスごとの使用容量など細かい状況が確認できます。

### ■3.ログファイルの閲覧

ご利用のサーバでは、Web アクセスに対するログを取っています。問題発生時にこのログファイルを参照すれば、トラブルシューティングに非常に役立ちます。ログファイルはコントロールパネルから閲覧することができます。

なおコントロールパネルへのログイン方法に関しては 4 ページを参照願います。

1) コントロールパネルから「ログマネージャ」アイコンをクリックしてください。

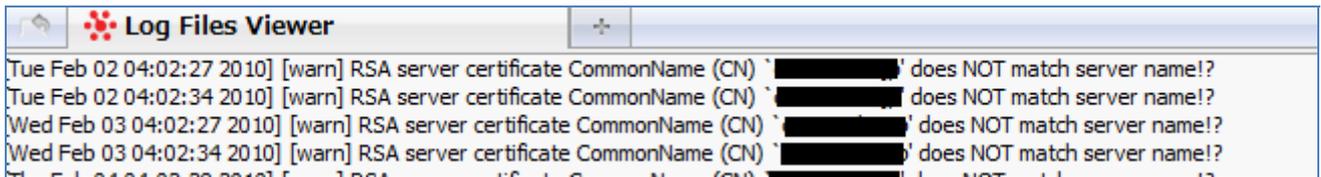


2) 以下のように4つのログファイルがあります。リンクをクリックすると新しいウィンドウがポップアップしてログを見ることができます。（ポップアップウィンドウをブラウザのセキュリティーでブロックしていると、ログファイルが表示されませんのでご注意ください。）

修正日	名前 ▲	サイズ
6月 18, 2010 10:17 AM	<a href="#">access_log</a>	781 B
6月 18, 2010 07:24 AM	<a href="#">access_log.processed</a>	2.53 MB
6月 1, 2010 07:32 AM	<a href="#">access_log.processed.1.gz</a>	6.24 KB
5月 1, 2010 07:19 AM	<a href="#">access_log.processed.2.gz</a>	54.0 KB
4月 1, 2010 04:16 AM	<a href="#">access_log.processed.3.gz</a>	3.02 KB
6月 18, 2010 07:24 AM	<a href="#">access_ssl_log</a>	0 B
6月 2, 2010 07:24 AM	<a href="#">access_ssl_log.processed</a>	0 B
6月 1, 2010 07:32 AM	<a href="#">access_ssl_log.processed.1.gz</a>	20 B
5月 1, 2010 07:19 AM	<a href="#">access_ssl_log.processed.2.gz</a>	20 B

access_log	Web へのアクセスログです。
access_ssl_log	SSL 経由での Web へのアクセスログです。
error_log	Web アクセス時に発生したエラーのログです。
error_ssl_log	SSL 経由での Web アクセス時に発生したエラーのログです。

3) なお「error\_ssl\_log」ファイルを見ると以下のようなエラーが発生しています。これらは、サーバーで取得した証明書と、ご利用のドメイン名が一致しないことに関する警告です。SSLでのアクセスは、特別なURLを使いますので特に問題ありません。



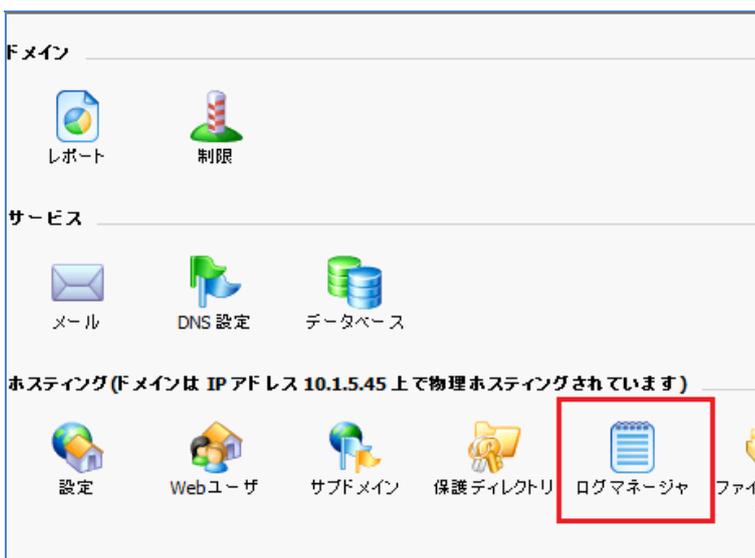
## ■4.ログファイルの保存

初期設定ではログファイルは1ヶ月に1つのファイルを3ヶ月間まで圧縮して保存する設定になっています。

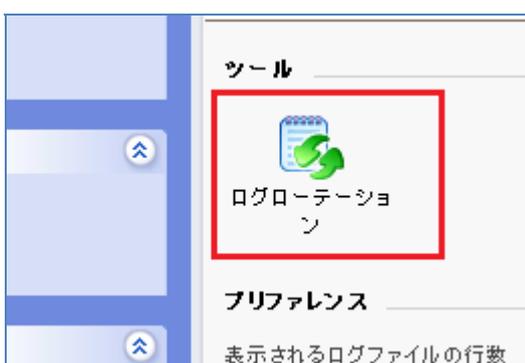
ここでは、この設定を変更する方法を説明します。

ログファイルの容量も Web+DB 容量に含まれますのでご注意ください。

1) ログファイルの設定はコントロールパネルから行います。トップページにある「ログマネージャ」アイコンをクリックしてください。



2) 「ログファイル管理」画面が表示されたら、画面内にある「ログローテーション」アイコンをクリックしてください。



3) 「ログローテーション選択設定」画面が表示されましたら、画面内の以下の箇所を変更し、「OK」ボタンをクリックします。



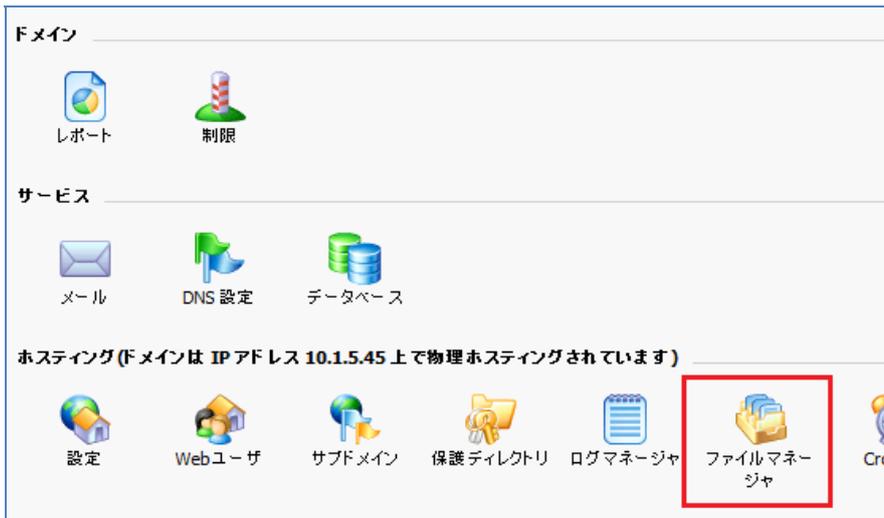
ログローテーション状態	ログローテーションの方式を選択します。サイズもしくは時間（期間）で設定が可能です。
最大ログファイル数	保存されるログファイルの上限数です。 この数値を超えたログファイルは消されていきます。
ログファイルを圧縮する	ログファイルを圧縮して保存する場合は、こちらをチェックします。
処理済ログファイルをメール送信する	メールでログファイルを受け取りたい場合は、送信したいメールアドレスを入力してください。

## ■5.ファイルマネージャ

サーバ上のファイルはコントロールパネルのファイルマネージャを使って操作することが可能です。まずはコントロールパネルへログインしてください。

なおコントロールパネルへのログイン方法に関しては4ページを参照願います。

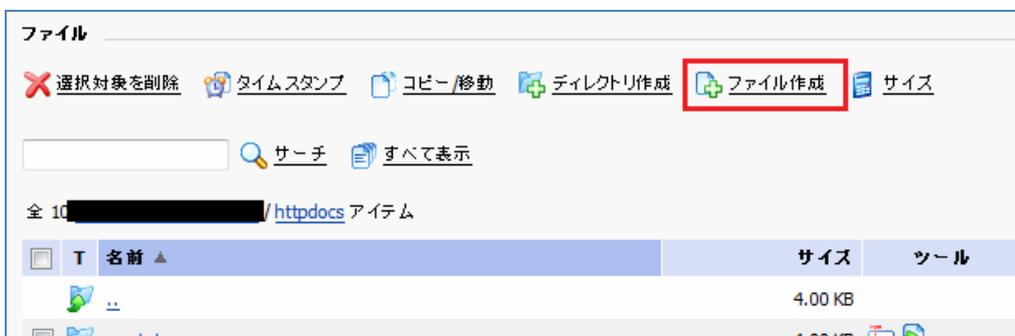
1) ファイルマネージャを使用するには、操作パネル上の「ファイルマネージャ」アイコンをクリックしてください。



2) サーバ上のディレクトリが表示されます。ここから各ディレクトリに移動して、ファイルのアップロードなどを行うことが可能です。サイト公開時に使用する「httpdocs」にファイルをアップロードしたい場合は、まず「httpdocs」をクリックしてディレクトリを移動します。



3) 次に「ファイル作成」をクリックします。



4) 「参照」ボタンをクリックして、ローカルのファイルを指定し、「OK」ボタンをクリックすればフ



- 2) パーミッションを変更したいファイルのあるディレクトリをクリックします。ここでは、「httpdocs」内の「index.html」のパーミッションを変更してみます。「httpdocs」をクリックしてください。



- 3) パーミッションを変更したいファイルの「パーミッション」リンクをクリックすれば変更することができます。

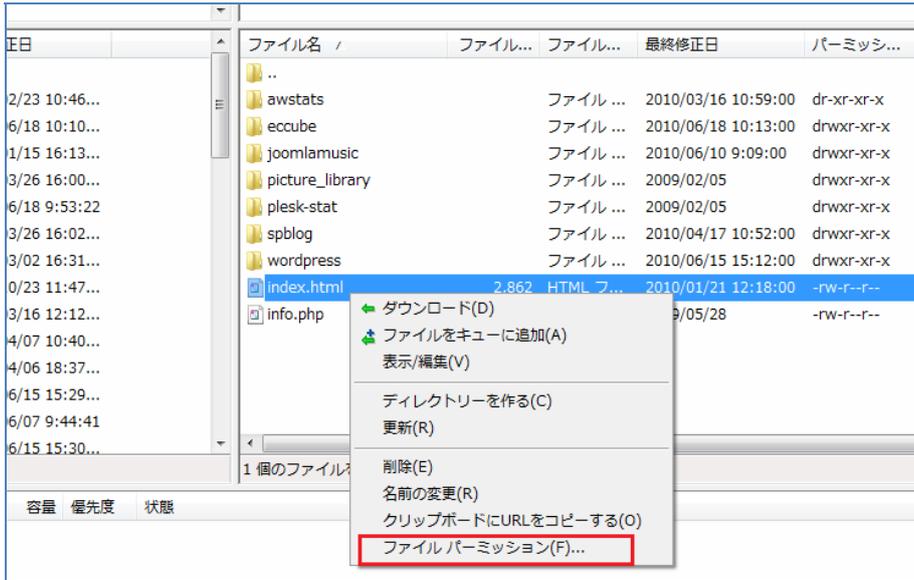


- 4) パーミッションが必要な部分をチェックし、必要無い部分のチェックを外して「OK」ボタンをクリックしてください。

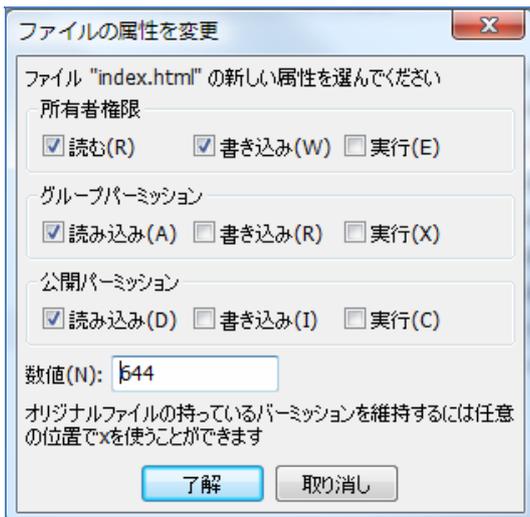


## 6.2 Filezilla を使ったパーミッションの変更

- 1) ファイルマネージャの場合と同じように、パーミッションを変更したいファイルが存在するディレクトリへ移動します。移動したら、ファイルを右クリックし「ファイルパーミッション (F)」を選択します。



2) 「ファイルの属性を変更」ダイアログから、パーミッションが必要な部分をチェックし、必要無い部分のチェックを外して「OK」ボタンをクリックしてください。



## Web サイト公開

### ■ 1. ディレクトリ構成

ご利用のサーバ上には以下のように様々なディレクトリが存在しています。しかし、実際に

使用するのはこの一部になります。具体的には「httpdocs」「cgi-bin」「error\_docs」「private」の4つです。

ファイル名 /	ファイル...	ファイル...	最終修正日	パーミッシ...	オーナー/グ...
..					
anon_ftp	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	drwxr-x---	w038257 ..
bin	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	drwxr-xr-x	root root
cgi-bin	ファイル ...	ファイル ...	2009/08/11	drwxr-x---	w038257 ..
conf	ファイル ...	ファイル ...	2010/04/19 19:35:00	drwxr-x---	root psas...
dev	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	drwxr-xr-x	root root
error_docs	ファイル ...	ファイル ...	2009/02/05	drwxr-xr-x	root psas...
etc	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	drwxr-xr-x	root root
httpdocs	ファイル ...	ファイル ...	2010/06/18 10:12:00	drwxr-x---	w038257 ..
httpsdocs	ファイル ...	ファイル ...	2009/02/05	drwxr-x---	w038257 ..
lib	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	drwxr-xr-x	root root
pd	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	drwxr-x---	root psas...
private	ファイル ...	ファイル ...	2009/02/05	drwx-----	w038257 ..
statistics	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	dr-xr-x---	root psas...
subdomains	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	drwxr-xr-x	root psas...
tmp	ファイル ...	ファイル ...	2010/06/18 14:44:00	drwxrwxrwt	root root
usr	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	drwxr-xr-x	root root
var	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	drwxr-xr-x	root root
web_users	ファイル ...	ファイル ...	2010/03/16 10:59:00	drwxr-xr-x	root psas...

以下、それぞれのディレクトリの役割です。

httpdocs	HTML ファイルや画像ファイルをアップロードするためのディレクトリです。ここに設置したファイルは、「http://ドメイン/ファイル名」でアクセスすることが可能です。このディレクトリでも CGI を動かすことが可能です。CGI を設置する場合は拡張子を「.cgi」もしくは「.pl」に設定してください。
cgi-bin	CGI 専用ディレクトリです。cgi ファイル以外は動作しません。「http://ドメイン/cgi-bin/ファイル名」でアクセスすることが可能です。
error_docs	独自エラーページ用ディレクトリです。エラーページの変更方法は 29 ページを参照願います。
private	外部からは一切アクセスできないフォルダです。公開したくないファイルはこちらに設置します。

## ■ 2. ファイルのアップロード

ファイルをサーバにアップロードするには以下の2つの方法があります。Web サイトのメンテナンスという意味では FTP を使って行うのが一般的です。

ファイルマネージャ	コントロールパネルからファイルマネージャを使ってアップロードします。1度に1つのファイルしかアップロードできません。
FTP	専用ソフトを使って、FTP 経由で接続しファイルをアップロードします。1度に複数のファイルをアップロードすることが可能です。

ここでは「Filezilla」というフリーの FTP ソフトを使ったアップロード方法を説明していきます。

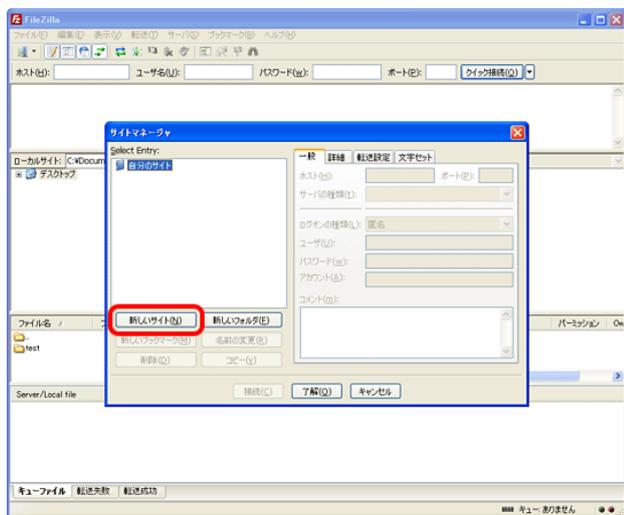
## 2.1 Filezilla の設定

Filezilla は以下の公式サイトからダウンロードして、PC にインストールしてください。

<http://filezilla-project.org/>

Filezilla は FTP 通信を SSH の仕組みを利用してファイルを安全に転送する仕組みになります。パスワード情報等が暗号化されない FTP 通信とは違い、安全に且つ高速にファイル転送が可能です。

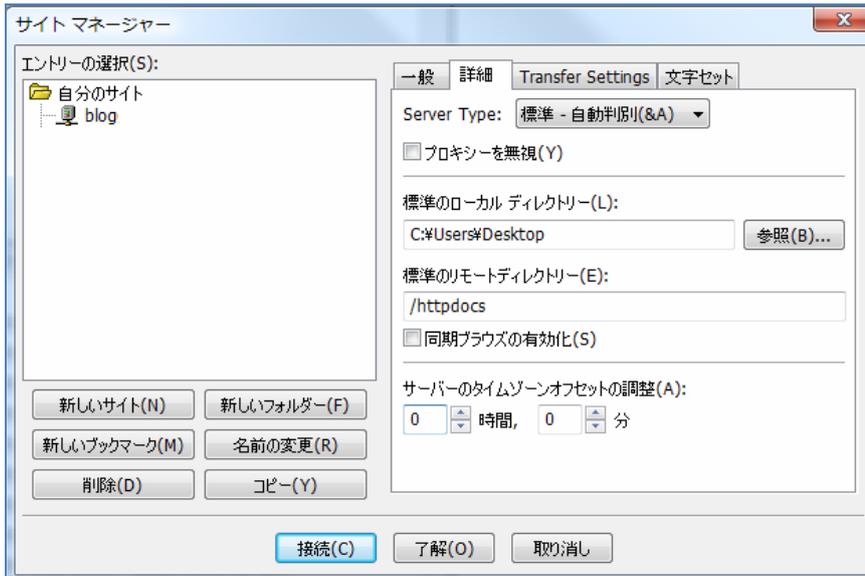
ファイル>>サイトマネージャをクリックし、その後「新しいサイト」にて設定を登録します。



必要事項を登録します。

ホスト名	FTP サーバ名（表紙に記載しております）
ポート	空欄
サーバの種類	SFTP –SSH File Transfer Protocol
ログオンの種類	通常
ユーザ	Web 管理者 ID（表紙に記載しております）
パスワード	Web 管理者パスワード（表紙に記載しております）

詳細タブをクリックし、設定します。



標準のローカルディレクトリ (L)	デスクトップを指定します。
標準のリモートディレクトリ (E)	/htdocs を指定します。

接続ボタンを押すとサーバーに接続します。

## 2.2 Web ページのアップロード

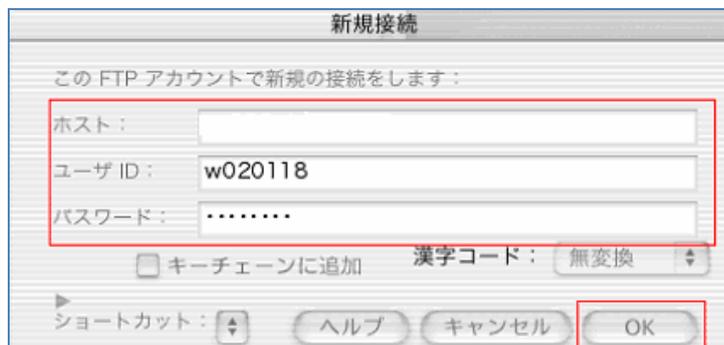
初回の接続時にサーバのキー情報を保存するかどうかのメッセージが表示されますので、「了解」を選択します。



接続時の画面です。

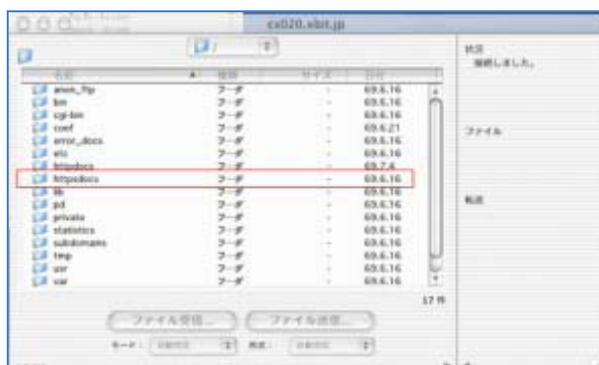


1) Fetch アイコンをクリックすると新規接続のダイアログが表示されます。以下の項目を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

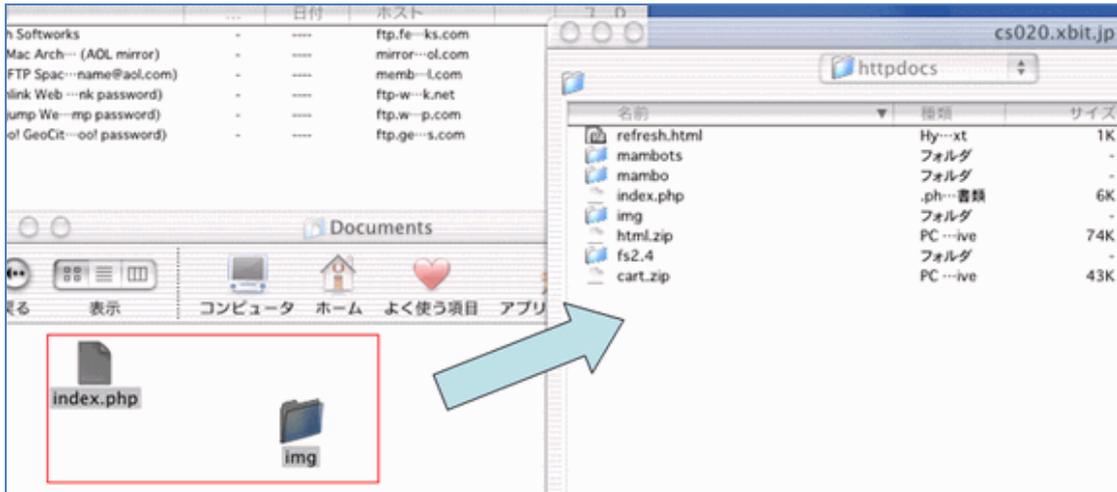


ホスト	FTP サーバ名 (表紙に記載しております)
ユーザ ID	Web 管理者 ID (表紙に記載しております)
パスワード	Web 管理者パスワード (表紙に記載しております)

2) ホームページや画像ファイルはすべて「/htdocs」にアップロードします。「/htdocs」をクリックして移動してください。



3) Finder などを使って Web ページのデータがあるフォルダを表示し、その中からサーバへ送りたいファイルを選択しドラッグ&ドロップでサーバへアップロードできます。

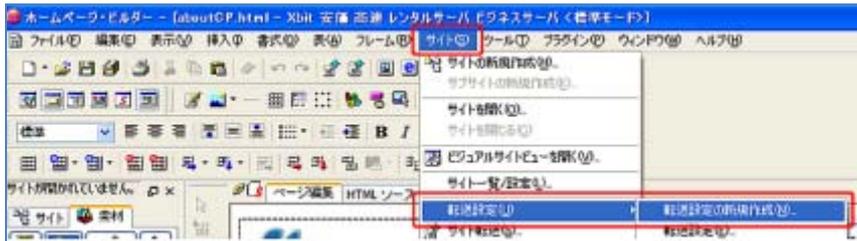


なお、最初から「/httpdocs」にあるファイルに関しては削除しても問題ありません。特に「index.html」は Web サイトにアクセスした際に最初に表示されるファイルですので、こちらを作成したページで上書きする必要があります。

## ■ 4. ホームページビルダーの設定

ホームページ作成ソフトのホームページビルダーにはファイルを FTP 経由でアップロードする機能が付いています。ここではホームページビルダーで転送設定を行う場合の設定方法を説明していきます。

- 1) 「サイト」 > 「転送設定」 > 「転送設定の新規作成」で設定ウィザードを起動します。



- 2) 転送設定の名前を入力します。どんな名前でもかまいませんが、ここでは「Demo」と設定します。名前を入力したら「次へ」をクリックしてください。



3) 転送先のサーバ情報を設定します。「プロバイダの選択」を除く以下の3項目を入力してください。

FTP サーバ名	FTP サーバ名 (表紙に記載しております)
ユーザ ID	Web 管理者 ID (表紙に記載しております)
パスワード	Web 管理者パスワード (表紙に記載しております)

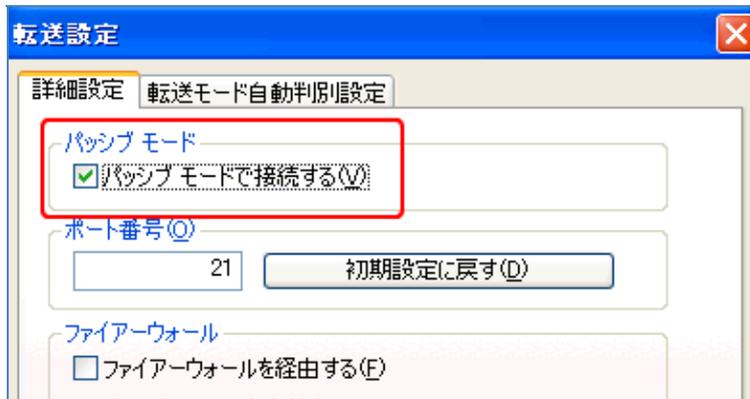
4) 入力したら「次へ」ボタンをクリックしてください。



5) 「転送先フォルダ」を設定します。HTML ファイルや画像ファイルをアップロードする場合は「/httpdocs」になります。実際のアップロードに関しては、ホームページビルダーのマニュアルを参照して行ってください。



6) 入力したら「詳細」ボタンをクリックして、PASVモードの設定を行います。PASVモードはFTPを安全に行うための設定です。「パッシブモードで接続する」をチェックして「OK」ボタンをクリックしてください。



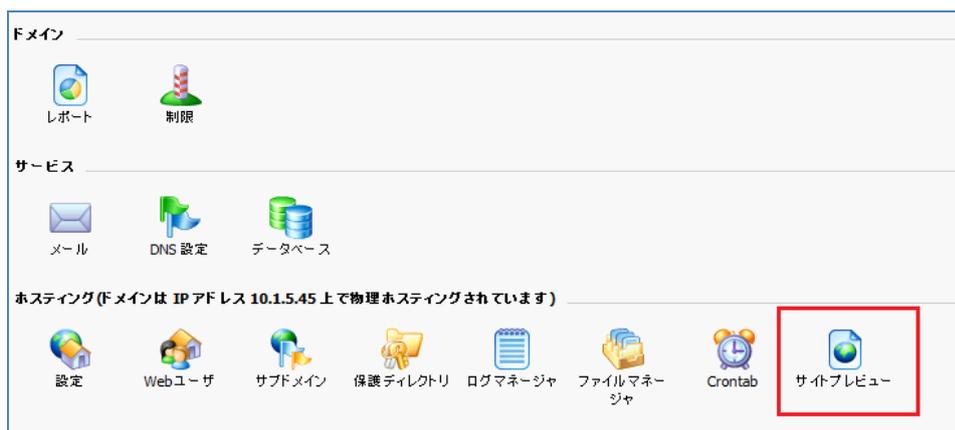
7) 最後に「完了」ボタンをクリックすれば、すべての設定が終了します。

## ■ 5. サイトのプレビューを行う

ファイルのアップロードや修正をその都度、確認したい場合は、サイトプレビューの機能が便利です。

サイトプレビューはコントロールパネル上から行えます。

1) ログイン直後のページから、一番右側にあるメニュー「サイトプレビュー」をクリックします。



2) 赤枠で囲まれた部分をクリックすると「<http://www.example.awk.jp/>」というアドレスに移動します。(example.awk.jpの部分は皆さんのサーバ名に読み替えてください)

すると新しいウィンドウが開いてアップロードした自分のサイトが表示されるはずです。

実際のサイト構築の際はこの機能を利用してこまめに実際のページのチェックを行うと良いでしょう。

## ■ 6. WEBの統計を確認する

Web サイトを運営していくうえでログの管理は欠かせません。

ログをチェックすることによって、日々のアクセスの増加数やページのアクセス数を把握することが可能です。

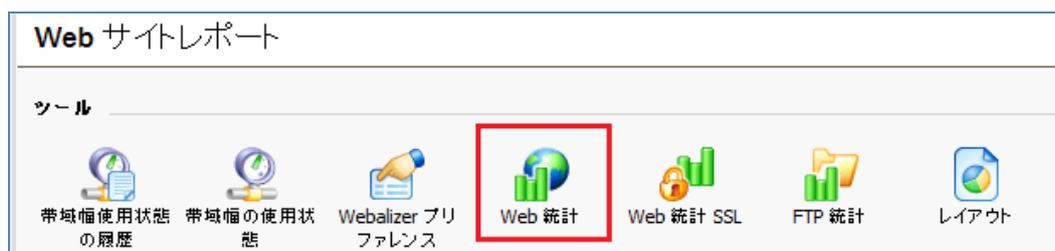
コントロールパネルには、 **webalizer** という専用のログ解析ソフトが付属しており、この機能を利用することによって棒グラフや表形式でログを様々な角度から分析可能です。

### 6.1 ログ解析を行うためには

- 1) コントロールパネルの管理画面から「レポート」をクリックします。

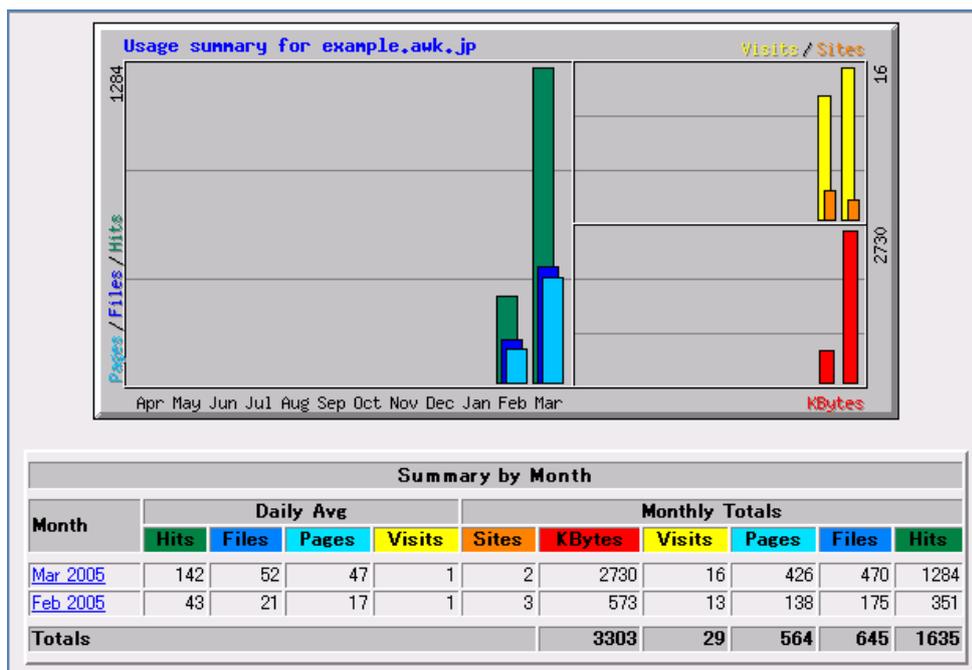


- 2) すると以下の画面がでるので、見たいログの画面をクリックします。



サイトの基本的なアクセス数などは Web 統計に表示されます。

- 3) そこで Web 統計をクリックします。すると以下のような画面が表示されるはずです。トップページでは、月ごとのアクセス数の総計が表示されます。



Daily Avg	日平均。1日あたりの平均値を表示する列
Monthly Totals	月総計。その月の総計を表示する列。
Hits	ヒット数。エラーも含んだ Web サーバに記録されたアクセス数。
Files	ファイル数。 Hits の内、正常にアクセスされた回数。
Pages	ページ数。 Hits の内、正常に HTML ページにアクセスされた回数。
Visits	のべ訪問者数。30分以内の同一 IP アドレスからのアクセスはカウントしない。
Sites	訪問者数。1年以内の同一の IP アドレスからのアクセスはカウントしない。
kBytes	転送したファイルの容量。

## 6.2 月の詳細なアクセス状況を表示

月ごとのリンクをクリックするとその月の詳細なアクセス状況を表示できます。

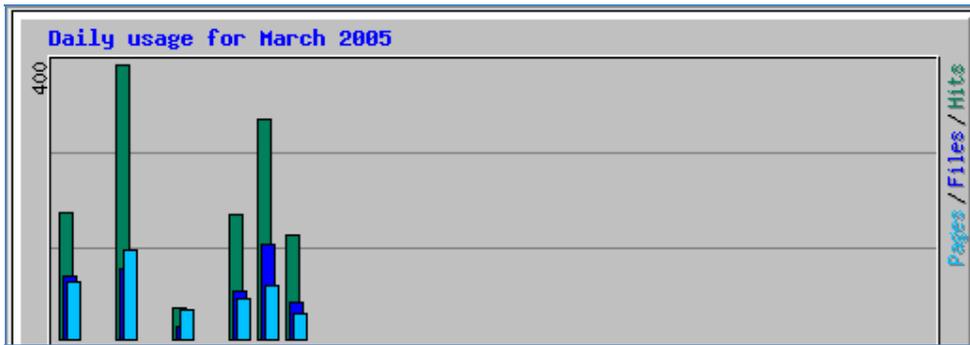
Month	Daily Avg					Monthly Totals				
	Hits	Files	Pages	Visits	Sites	KBytes	Visits	Pages	Files	Hits
Mar 2005	142	52	47	1	2	2730	16	426	470	1284
Feb 2005	43	21	17	1	3	573	13	138	175	351
<b>Totals</b>						<b>3303</b>	<b>29</b>	<b>564</b>	<b>645</b>	<b>1635</b>

●月次統計の詳細

Monthly Statistics for March 2005		
Total Hits	1284	
Total Files	470	
Total Pages	426	
Total Visits	16	
Total KBytes	2730	
Total Unique Sites	2	
Total Unique URLs	123	
Total Unique Referrers	19	
Total Unique User Agents	4	
	<b>Avg</b>	<b>Max</b>
Hits per Hour	5	280
Hits per Day	142	400
Files per Day	52	138
Pages per Day	47	130
Visits per Day	1	4
KBytes per Day	303	953
Hits by Response Code		
Code 200 - OK	470	
Code 301 - Moved Permanently	8	

Total Hits	総ヒット数
Total Files	総ファイル閲覧数
Total Pages	総ページ閲覧数
Total Visits	総訪問者数
Total kBytes	総転送量
Total Unique Sites	総個別サイト数
Total Unique URL s	総個別 URL 数
Total Unique Referrers	総個別リファラー (アクセス元の URL) 数
Total Unique User Agents	総個別ユーザエージェント (OS・ブラウザ) 数
Hits per Hour	1時間あたりのヒット数。avgは平均値。maxは最大値
Hits per Day	1日あたりのヒット数
Files per Day	1日あたりのファイル閲覧数
Pages per Day	1日あたりのページ閲覧数
Visits per Day	1日あたりの訪問者数
kBytes per Day	1日あたりの転送量
Hits by Response Code	レスポンスコード毎のヒット数

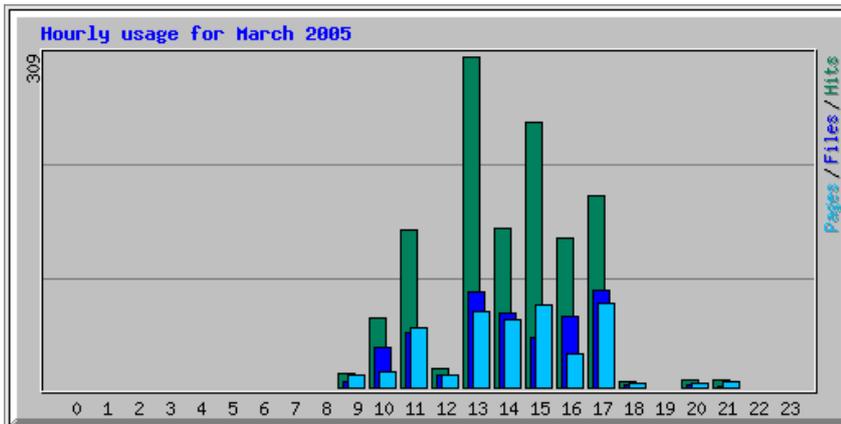
● 日ごとの統計 (グラフ)



● 日ごとの統計

Daily Statistics for March 2005												
Day	Hits		Files		Pages		Visits		Sites		KBytes	
1	185	14.41%	92	19.57%	82	19.25%	1	6.25%	1	50.00%	953	34.91%
2	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	400	31.15%	102	21.70%	130	30.52%	4	25.00%	1	50.00%	422	15.47%

● 1時間ごとの統計 (グラフ)



● 1時間ごとの統計

Hourly Statistics for March 2005												
Hour	Hits			Files			Pages			KBytes		
	Avg	Total	%	Avg	Total	%	Avg	Total	%	Avg	Total	%
0	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
1	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
2	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
3	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%

●全 URL の内のヒット数ランキング

Top 23 of 123 Total URLs					
#	Hits		KBytes		URL
1	104	8.10%	568	20.80%	<a href="#">/cgi-bin/mt/mt.cgi</a>
2	37	2.88%	354	12.93%	<a href="#">/admin/users.php</a>
3	27	2.10%	26	0.95%	<a href="#">/demo.blog/</a>

●全 URL の内の転送量ランキング

Top 10 of 123 Total URLs By KBytes					
#	Hits		KBytes		URL
1	104	8.10%	568	20.80%	<a href="#">/cgi-bin/mt/mt.cgi</a>
2	19	1.48%	416	15.24%	<a href="#">/admin/configuration.php</a>
3	37	2.88%	354	12.93%	<a href="#">/admin/users.php</a>

●入場ページ（訪問者が最初に訪れたページ）のランキング

Top 4 of 4 Total Entry Pages					
#	Hits		Visits		URL
1	6	0.47%	6	30.00%	<a href="#">/</a>
2	104	8.10%	4	33.33%	<a href="#">/cgi-bin/mt/mt.cgi</a>
3	17	1.32%	1	8.33%	<a href="#">/cgi-bin/mt/mt-load.cgi</a>

●退場ページ（訪問者が最後に訪れたページ）のランキング

Top 5 of 5 Total Exit Pages					
#	Hits		Visits		URL
1	26	2.02%	3	30.00%	<a href="#">/admin/users_login.php</a>
2	27	2.10%	3	30.00%	<a href="#">/demo.blog/</a>
3	104	8.10%	2	20.00%	<a href="#">/cgi-bin/mt/mt.cgi</a>

●アクセス元コンピュータのヒット数ランキング

Top 2 of 2 Total Sites									
#	Hits		Files		KBytes		Visits		Hostname
1	1279	99.61%	468	99.57%	2725	99.85%	14	87.50%	zf066079.ppp.dion.ne.jp
2	5	0.39%	2	0.43%	4	0.15%	2	12.50%	sg.tk.itboost.co.jp

●アクセス元コンピュータの転送量ランキング

Top 2 of 2 Total Sites By KBytes									
#	Hits		Files		KBytes		Visits		Hostname
1	1279	99.61%	468	99.57%	2725	99.85%	14	87.50%	zf066079.ppp.dion.ne.jp
2	5	0.39%	2	0.43%	4	0.15%	2	12.50%	sg.tk.itboost.co.jp

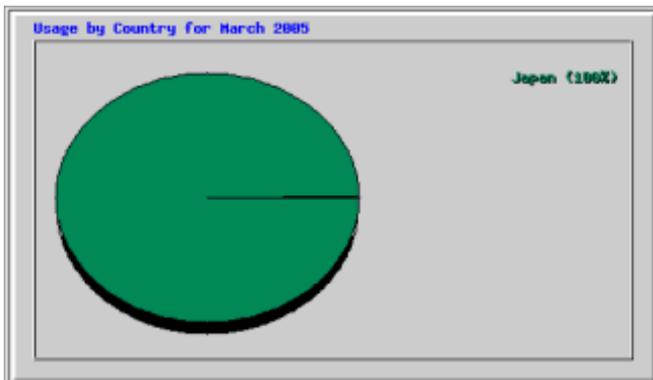
●アクセス元 URL のヒット数ランキング

Top 19 of 19 Total Referrers			
#	Hits		Referrer
1	621	48.35%	<a href="http://www.example.awk.jp/cgi-bin/mt/mt.cgi">http://www.example.awk.jp/cgi-bin/mt/mt.cgi</a>
2	253	19.70%	- (Direct Request)
3	137	10.67%	<a href="http://example.awk.jp/catalog/default.php">http://example.awk.jp/catalog/default.php</a>

●全 OS・ブラウザの内のヒット数ランキング

Top 4 of 4 Total User Agents			
#	Hits		User Agent
1	847	65.97%	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; SV1)
2	219	17.06%	Mozilla/5.0 (Windows; U; Windows NT 5.1; ja-JP; rv:1.7.5) Gec
3	199	15.50%	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1)

●国別のヒット数ランキング (グラフ)



●国別のヒット数ランキング

Top 1 of 1 Total Countries							
#	Hits		Files		KBytes		Country
1	1284	100.00%	470	100.00%	2730	100.00%	Japan

## ■ 7. オリジナルエラー画面を表示する

ファイルが見つからない場合や、何らかのエラーが出た場合は以下のような標準のエラー画面が表示されます。

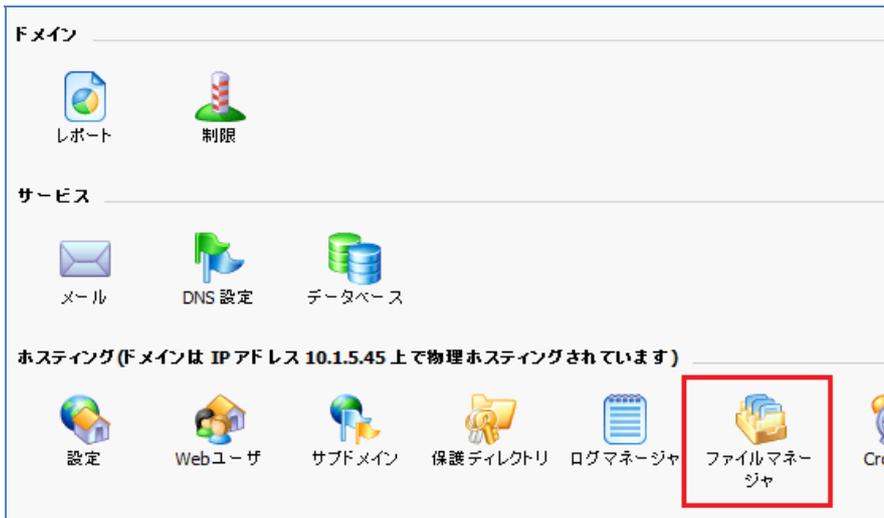


これを、例えば以下のようにオリジナルエラー画面を作成することにより、自由に変更することが可能です。

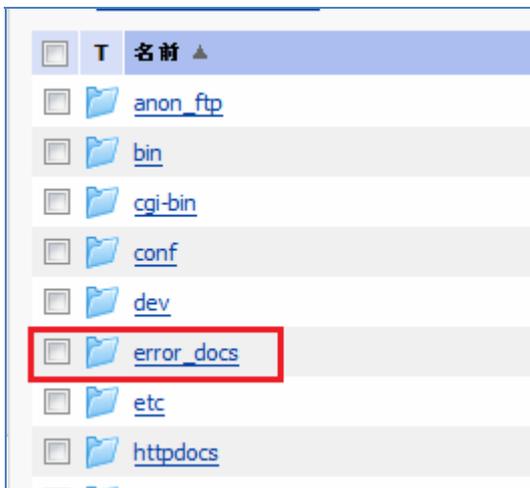


オリジナルエラー画面を表示する方法は以下の通りです。

- 1) 初めにエラーが発生した際に、オリジナル画面が表示されるように設定を行います。管理ページにログインし「ファイルマネージャ」をクリックします。



2) 「ファイルマネージャー」画面内にある「error\_docs」をクリックします。



3) /error\_docs ディレクトリ内が表示されますので、変更を行いたいファイルの右側にある編集ボタンを選択してください。



それぞれのファイルを編集することにより得られる効果は以下の通りです。

●bad\_request.html

ERROR400 画面を設定します。

この画面は入力されているホームページのアドレスが間違っている場合等に表示されます。

●unauthorized.html

ERROR401 画面を設定します。

この画面はパスワードが違う場合等に表示されます。

●forbidden.html

ERROR403 画面を設定します。

この画面は表示が許されていない場合等に表示されます。

●not\_found.html

ERROR404 画面を設定します。

この画面はファイルが見つからない場合等に表示されます。

●internal\_server\_error.html

ERROR500 画面を設定します。

この画面は CGI や設定のミスなどによるサーバーエラー時等に表示されます。

4) ファイルの編集画面が表示されます。

ここに、表示させたいエラー画面の HTML の記述をし、「エンコード」を「UTF-8」を選択してください。

編集終了後、「OK」ボタンをクリックしてください。

なお作成に際しましては、以下の点にご注意願います。

/error\_docs ディレクトリに、画像ファイルをアップロードすることはできませんのでご注意願います。

画像を使用する際は /httpdocs 等のファイルをアップロードすることができるディレクトリに使用する画像を格納します。

画像を格納後、HTML ファイルに格納した画像ファイルを参照するよう、以下のように記述を行います。

を HTML ファイル内に記述します。

(例)http://example.awk.jp/httpdocs ディレクトリにアップロードを行った

「xbit\_rogo001.gif」ファイルを表示させるためには、以下のような記述を行います。



※詳しい記述方法につきましては、以下の WEB ページをご参照願います。

- ・ とほほの HTML 入門 <http://www.tohoho-web.com/>
- ・ CHIPS <http://chips.ipnet.biz/>

ドメイン > example.awk.jp >  
 ファイルマネージャ

ファイルexample.awk.jp / error\_docs / not\_found.htmlを編集する

SHIFT\_JIS エンコードの変更 **クリック**

```

<html>
<head>
<title>Xbit:404 not found error...</title>
<META NAME="Keywords" CONTENT="">
<META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<META http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
body,table,td{
font-size:10pt;
font-family:'MS UI Gothic';
color: #444444 ;
line-height:150% ;
margin-left: 20px ;
margin-right: 0% ;
margin-bottom: 0% ;
margin-top: 70px ;
}
a:link,a:active,a:visited{
color:#330099;
text-decoration:none;}
a:hover{
border-width:2px;
border-bottom:dotted;
border-color:ff5555;}
body{ /*スクロールバー*/

```

**ここを入力**

**クリック**

\* 必須フィールド

リセット 保存 **OK**

5) エラーを発生させて画面を確認してください。

**404 File not find**

ご指定のページは現在存在していません。

サイトにおいて以下の状況が考えられます。

- ・存在していない。
- ・管理者によって削除された。
- ・現在利用できない。

次のことを試してください。

- ・更新ボタンをクリック。
- ・URLを正しく入力できたか確認する。

ご利用中のみなさまへ。  
 サーバ側の問題で疑問点などございましたらメールフォームよりご連絡ください。

Demo(Corp) HTTP 404 - ファイル未検出

## ■ 8. SSLでのサイトアクセス

個人情報などをサイトフォームから入力させる際には通信を暗号化する必要があります。  
SSLでアクセスさせるようにすれば、これを簡単に実現できます。

SSLでアクセスするには特別なURLが必要となります。URLは具体的には以下ようになります。

https://ご利用サーバ名/□Web 管理者アカウント/ファイル名

ご利用サーバ名： Web 管理者アカウント：
---------------------------

ご利用サーバ名が「cs019.demo.jp」、Web 管理者アカウントが「w019001」の場合には以下のURLを使うことで、SSL経由でサイトにアクセスすることが可能です。

https://cs019.demo.jp/□w019001/ファイル名

なお以下のようなURLでアクセスした場合は、「/httpdocs/cgi-bin」へアクセスしますので注意が必要です。SSL経由でCGIを動作させる場合には必ず「/httpdocs」配下で動作させてください。

https://cs019.demo.jp/~w019001/cgi-bin/ファイル名

なお「~」はチルダと呼び、多くの日本語キーボードで「Shift キー」+「^」（への位置）で入力可能です。

## ■ 9. アクセス認証が必要なページを設定する

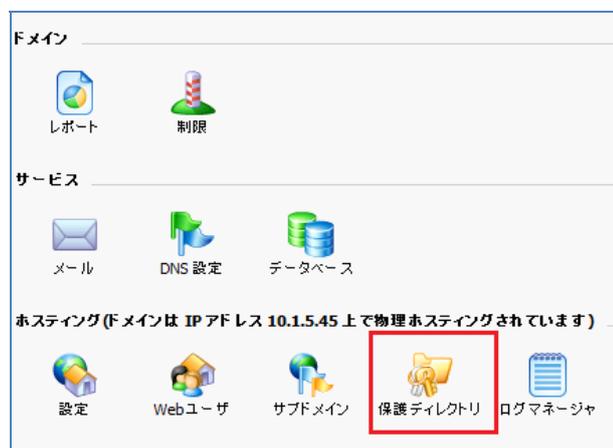
アクセス認証はディレクトリ（フォルダ）ごとに設定が可能です。認証が必要なページは以下の手順で設定できます。

- ① 保護ディレクトリ（フォルダ）を作成する
- ② アクセス用ユーザの追加
- ③ 保護ディレクトリ（フォルダ）にファイルをアップロードする

## 9.1 保護ディレクトリ（フォルダ）を作成する

まず認証を行うページを入れるための保護ディレクトリ（フォルダ）をコントロールパネルから作成します。コントロールパネルへのログインは 4 ページを参照お願いします。

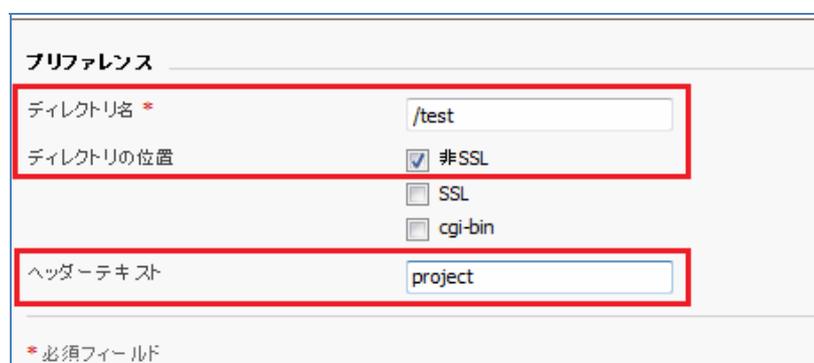
1) まず「保護ディレクトリ」をクリックしてください。



2) 「新しいディレクトリの追加」をクリックしてください。



3) ディレクトリ名は自由に決めることができます。ここでは「test」というディレクトリを作成します。「非 SSL」のみにチェックを付けてください。「ヘッダテキスト」は認証ダイアログのタイトル部分なので好きなアルファベットで問題ありません。入力が完了したら「OK」ボタンをクリックしてください。

A screenshot of a 'プリファレンス' (Preferences) form. The form has two main sections highlighted with red boxes. The first section contains 'ディレクトリ名 \*' (Directory Name) with the input field containing '/test', and 'ディレクトリの位置' (Directory Location) with three checkboxes: '非SSL' (Non-SSL) which is checked, 'SSL', and 'cgi-bin'. The second section contains 'ヘッダテキスト' (Header Text) with the input field containing 'project'. At the bottom left, there is a note: '\* 必須フィールド' (Required field).

これで「httpdocs」配下に「test」というディレクトリ（フォルダ）が自動的に作成されています。なお「非 SSL」のみで作成しても SSL 経由での利用が可能ですのでご安心ください。また保

保護ディレクトリ（フォルダ）の作成から、実際に保護設定が有効になるまで 15 分～30 分程度かかりますのでご注意ください。

## 9.2 アクセス用ユーザーの追加

続いて実際にアクセスするためのユーザを追加します。

- 1) 「新しいユーザの追加」をクリックしてください。



- 2) 新しいユーザ・新しいパスワード・パスワードの確認を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

A screenshot of a dialog box titled '保護ディレクトリユーザ' (Protected Directory User). It contains four input fields: '新しいユーザ\*' (New User\*) with the value 'demo', '古いパスワード' (Old Password) with the value 'なし' (None), '新しいパスワード\*' (New Password\*) with masked characters, and 'パスワードの確認\*' (Confirm Password\*) with masked characters. A red box highlights the '新しいユーザ\*' field. At the bottom right, there is an 'OK' button with a green checkmark icon, also highlighted with a red box. A legend at the bottom left indicates '\*必須フィールド' (Required field).

これで保護ディレクトリにアクセスするためのユーザが追加できました。

## 9.3 保護ディレクトリ（フォルダ）にファイルをアップロードする

作成したディレクトリは「httpdocs」配下にあります。「test」というディレクトリを作成したので「/httpdocs/test」というディレクトリが保護ディレクトリになっています。

このディレクトリにファイルをアップロードすれば、すべてのファイルがパスワード認証をしないと見れない状態になります。

例えばこのディレクトリにアップロードした「MacfileUpload.html」というファイルにアクセスしてみます。

名前	日付	サイズ	種類	属性
MacfileUpload.html	2005/07/16 ...	11,530	html	rw-r--r--

URL は「http://ご利用ドメイン/test/MacfileUpload.html」です。実際にアクセスすると以下のようなダイアログが表示され、2で追加したユーザで認証を行わないとアクセスできません。

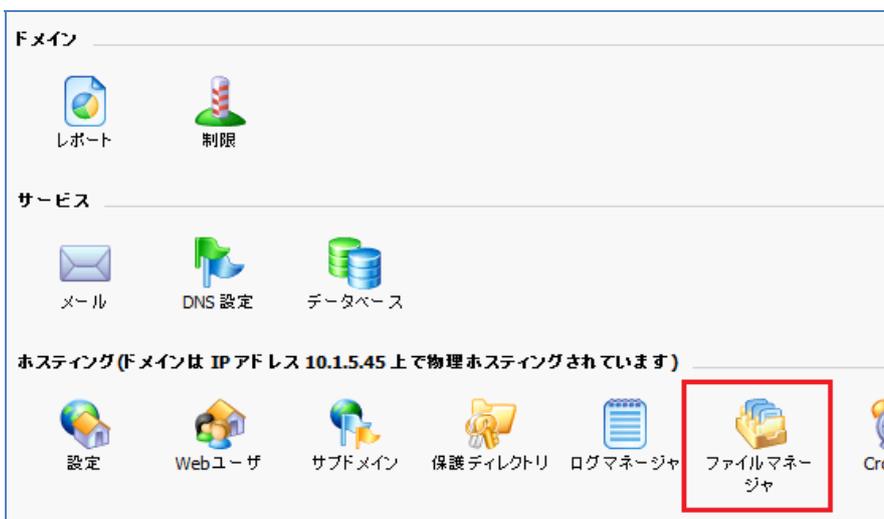
## 9.4 特殊URLアクセスへの対応

9.1～9.3 の設定だけでは SSL の際に使用する特殊な URL を使うと認証を回避することが可能となります。たとえば「/httpdocs/test」に認証を設定したとしても、以下のような URL を使用すると認証を回避してのアクセスが可能となります。

`http://ps019.demo.jp/~w019235/test/`

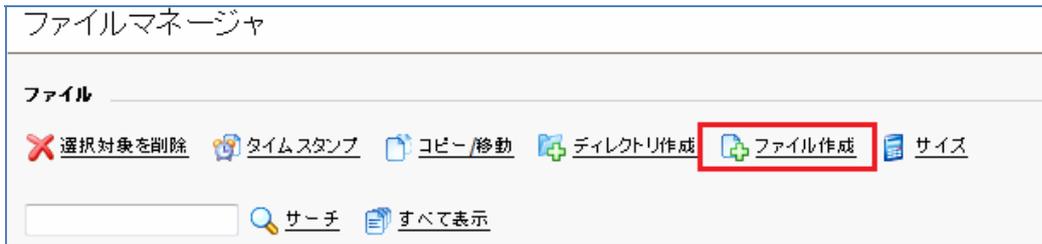
●このような特殊URLでアクセスした際にも認証を有効にする設定方法

1) コントロールパネルにログイン後、ファイルマネージャを使い設定を行いたいフォルダに移動してください。



ここでは「/httpdocs/test」に移動したものとして説明していきます。

- 2) 移動後「ファイル作成」をクリックして新規ファイルを作成します。



- 3) 「ファイル作成」を選択し、ファイル名に「.htaccess」と入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

● ファイルアップロード

ファイルパス \*  参照...

改行

● **ファイル作成**

ファイル名 \*

HTMLテンプレートを使用します

\* 必須フィールド

- 4) 以下のように入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

```
AuthType Basic
AuthUserFile "/home/httpd/vhosts/ドメイン名/pd/d..httpdocs@フォルダ名"
AuthName "MemberCertification"
Require valid-user
```

```
AuthType Basic
AuthUserFile "/home/httpd/vhosts/example.com/pd/d..httpdocs@test"
AuthName "MemberCertification"
Require valid-user
```

以下のエンコードにて保存する:

認証の保存中

「.htaccess」というファイルが作成され、これにより特殊 URL でアクセスした際にも、認証が有効となります。

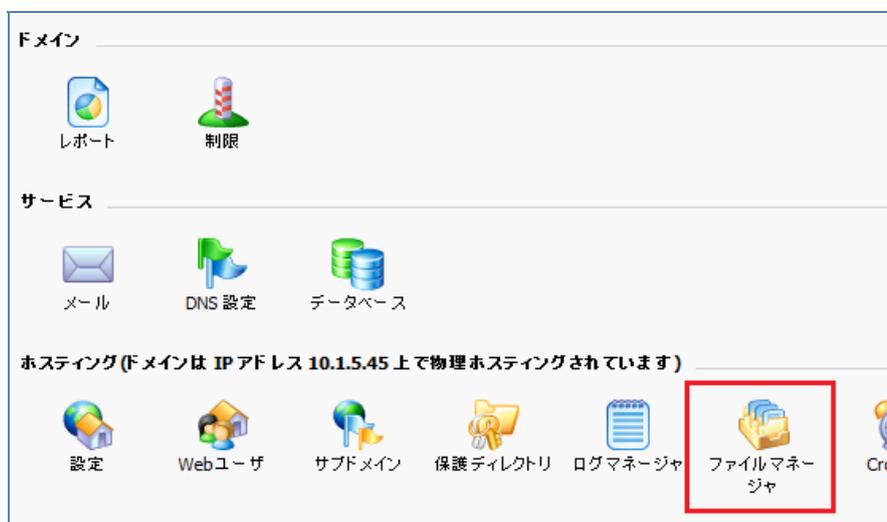
## ■ 10. IPアドレスによるアクセス制限

ディレクトリごとにIPアドレスによるアクセス制限を行うことが可能です。

### 10.1 コントロールパネルからアクセス制限を行う方法

なおコントロールパネルへのログイン方法に関しては4ページを参照願います。

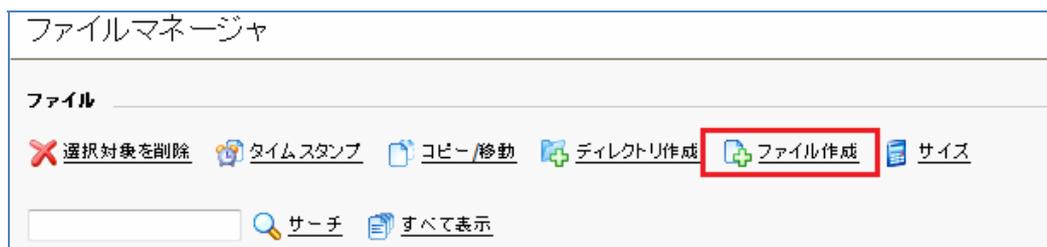
1) まずコントロールパネルから「ファイルマネージャー」アイコンをクリックしてください。



2) ここでは「/httpdocs」ディレクトリに制限をかけます。クリックして「/httpdocs」に移動します。



3) 「ファイル作成」リンクをクリックしてください。



4) 「ファイル作成」を選択し、ファイル名に「.htaccess」と入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

5) 例えば、すべてのアクセスを許可した上で、「192.168.0.2」からのアクセスを拒否したい場合は以下の ように設定します。設定したら「OK」ボタンをクリックしてください。

```
Allow From all
Deny From 192.168.0.2
Order Allow,deny
```

6) この時点で設定は有効になっています。記述方法に関しては以下のURLを参照してみてください。

[http://www.stackasterisk.jp/tech/systemConstruction/apache04\\_01.jsp#4](http://www.stackasterisk.jp/tech/systemConstruction/apache04_01.jsp#4)

## ■ 11. 高機能アクセス解析を利用する

高機能アクセス解析のオプションをお申込み頂くことによって AWStats というさらに高機能なアクセス解析を閲覧することが可能です。

オプション申込み時に送付されるメールの内容に従ってアクセス解析のトップページへアクセスできます。

統計: xb-test025.awk.jp

最終の更新: 2005年 12月 26日 - 03:50

表示するレポート: 12月 2005 OK

サマリー

表示するレポート 月 12月 2005  
 最初の訪問 2005年 12月 19日 - 19:54  
 最後の訪問 2005年 12月 25日 - 04:05

	訪問者	訪問数	ページ	件数	バイト
閲覧アクセス *	1	7 (7 訪問/訪問者)	1541 (220.14 ページ/訪問)	1541 (220.14 件数/訪問)	12.04 Kb (1.71 Kb/訪問)
閲覧に含まれないアクセス *			2573	2573	20.10 Kb

\* 閲覧に含まれないアクセスはロボット、ワームなどによるものです。

月

月	訪問者	訪問数	ページ	件数	バイト
1月 2005	0	0	0	0	0
2月 2005	0	0	0	0	0
3月 2005	0	0	0	0	0
4月 2005	0	0	0	0	0
5月 2005	0	0	0	0	0
6月 2005	0	0	0	0	0
7月 2005	0	0	0	0	0
8月 2005	0	0	0	0	0
9月 2005	0	0	0	0	0
10月 2005	0	0	0	0	0
11月 2005	0	0	0	0	0
12月 2005	1	7	1541	1541	12.04 Kb

●表示したい月の選択

最終の更新: 2005年 12月 26日 - 03:50

表示するレポート: 12月 2005 OK

PLESK™

●月間のアクセスサマリー

サマリー

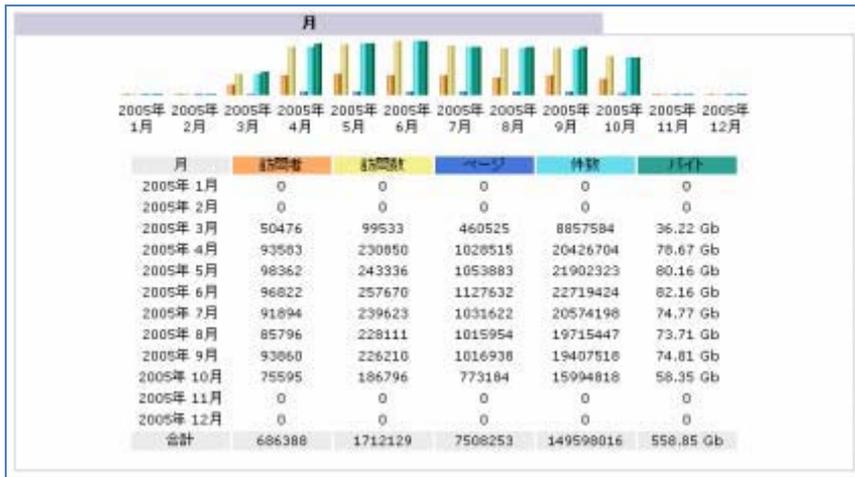
表示するレポート 月 10月 2005  
 最初の訪問 2005年 10月 25日 - 11:14  
 最後の訪問 2005年 10月 25日 - 11:19

	訪問者	訪問数	ページ	件数	バイト
閲覧アクセス *	131	131 (1 訪問/訪問者)	267 (2.03 ページ/訪問)	5127 (39.13 件数/訪問)	21.53 Mb (168.3 Kb/訪問)
閲覧に含まれないアクセス *			171	291	1.12 Mb

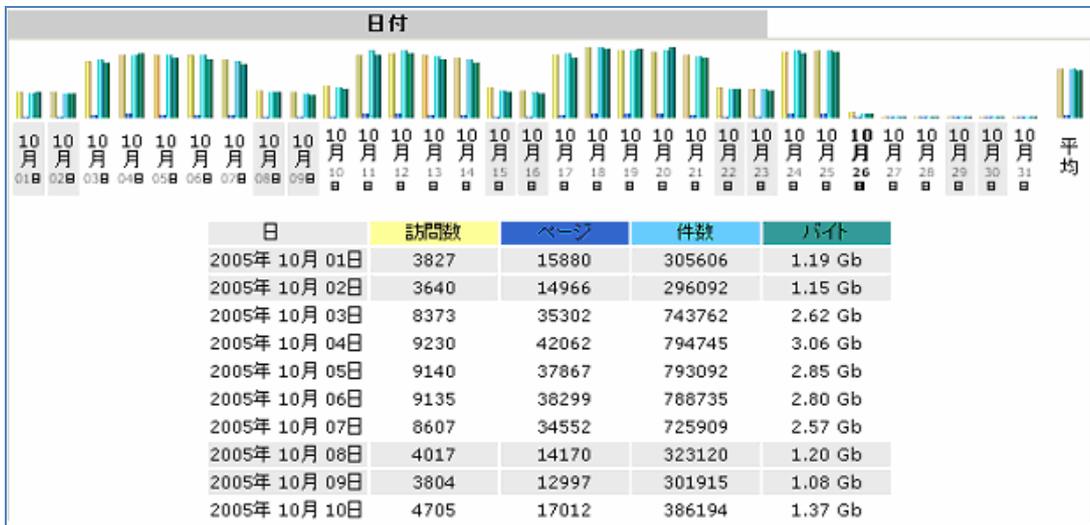
\* 閲覧に含まれないアクセスはロボット、ワームなどによるものです。

訪問者	一意な訪問者の合計数です。つまり一人の訪問者が時間を置いて再度訪れたとしても一人と数えられます。
訪問数	訪問回数の合計数です。上の訪問者よりも数が多ければ多いほどアクセスのリピート率が高いといえます。
ページ	ブラウザにページが表示された回数となります。ページビューと呼ばれることもあります。
件数	アクセスのあったファイル数の合計です。画像ファイルやスタイルシートなどページとは判断されないファイルもここには含まれます。
バイト	転送量の合計バイト数となります。

●月別のアクセス数一覧



●日毎のアクセス数の一覧



●曜日毎のアクセス数の一覧



●時間帯別のアクセス数の一覧



● ロボット・スパイダーなど訪問者以外のアクセス数

ロボット/スパイダーの訪問者 (トップ 10) - 全リスト - 最後の訪問			
33 ロボットの訪問*	件数	バイト	最後の訪問
Jeeves	26194	87.62 Mb	2005年 10月 25日 - 19:10
Yahoo! Slurp	17726	814.77 Mb	2005年 10月 26日 - 04:05
Googlebot (Google)	13790	549.83 Mb	2005年 10月 26日 - 03:09
Nagios monitoring checker	12068	409.12 Mb	2005年 10月 26日 - 04:07
はてなアンテナ	9529	235.78 Mb	2005年 10月 26日 - 03:50
MSNBot	8025	289.02 Mb	2005年 10月 26日 - 04:04
Bookmark Renewal Check Agent	7087	0	2005年 10月 25日 - 19:31
Unknown robot (identified by 'crawl')	5166	238.21 Mb	2005年 10月 25日 - 19:26
Livedoor Checkers	4151	185.20 Mb	2005年 10月 26日 - 03:57
KDD-Explorer	4060	15.24 Mb	2005年 10月 25日 - 21:21
その他	7468	153.89 Mb	

\* ロボットによるアクセスは訪問者の履歴とは異なりますので他のチャートに含まれていません。

● 滞在時間

訪問の長さ		
訪問数: 186796 - 平均: 515 s	訪問数	パーセント
0s-30s	106339	56.9 %
30s-2mn	20289	10.8 %
2mn-5mn	13043	6.9 %
5mn-15mn	14880	7.9 %
15mn-30mn	10297	5.5 %
30mn-1h	12434	6.6 %
1h+	9421	5 %
不明	93	0 %

● アクセスされたファイルの種類

ファイルの種類				
ファイルの種類	件数	パーセント	バイト	パーセント
gif イメージファイル	13971825	87.3 %	22.98 Gb	39.3 %
css CSS(Cascading Style Sheet)ファイル	778188	4.8 %	1.45 Gb	2.4 %
jsp 動的なHTMLページもしくはスクリプトファイル	705950	4.4 %	26.66 Gb	45.6 %
js Javaスクリプトファイル	244544	1.5 %	104.56 Mb	0.1 %
jpg イメージファイル	226423	1.4 %	3.31 Gb	5.6 %
htm 静的なHTMLもしくはXMLファイル	33239	0.2 %	2.33 Gb	3.9 %
do	18854	0.1 %	824.58 Mb	1.3 %
html 静的なHTMLもしくはXMLファイル	12853	0 %	591.97 Mb	0.9 %
png イメージファイル	654	0 %	368.88 Kb	0 %
patch	549	0 %	224.97 Kb	0 %
pdf 文書ファイル	451	0 %	26.06 Mb	0 %
java	355	0 %	135.19 Kb	0 %
gz アーカイブファイル	260	0 %	1.09 Mb	0 %
lzh	229	0 %	1.50 Mb	0 %
zip アーカイブファイル	214	0 %	96.78 Mb	0.1 %
tgz アーカイブファイル	76	0 %	325.51 Kb	0 %
jar	56	0 %	148.03 Kb	0 %
pl 動的なHTMLページもしくはスクリプトファイル	38	0 %	1.32 Mb	0 %
txt 静的なHTMLもしくはXMLファイル	24	0 %	155.63 Kb	0 %
jmx	18	0 %	139.61 Kb	0 %
swf Macromedia Flashアニメーション	13	0 %	141.24 Kb	0 %
? 不明	5	0 %	252.71 Kb	0 %

● ページのアクセスランキング

URLページ (トップ 10) - 全リスト - 入り口 - 出口				
1385 ページ	アクセス	平均サイズ	入り口	出口
/recruitSite/jobSearch.htm	16007	115.64 Kb	1728	2156
/tech/php/searchAction.do	14884	44.24 Kb	2827	3487
/tech/java/index.jsp	13458	142.85 Kb	2161	2598
/recruitSite/jobDetailView.htm	12621	35.66 Kb	370	875
/tech/index.jsp	11958	74.17 Kb	4125	3616
/tech/php/index.jsp	9437	40.31 Kb	1655	1546
/	8839	32.88 Kb	4616	2858
/tech/systemConstruction/index.jsp	7640	95.59 Kb	1761	1537
/tech/engineer/index.jsp	5280	92.19 Kb	695	857
/tech/php/mojavi01_01.jsp	3824	29.01 Kb	1840	793
その他	669236	36.18 Kb	165018	166380

● 全 OS・ブラウザの内のヒット数ランキング

オペレーティングシステム (トップ 10) - 全リスト/バージョン - 不明		
オペレーティングシステム	件数	パーセント
Windows	14884999	93.0 %
Linux	412605	2.5 %
不明	379595	2.3 %
Macintosh	282771	1.7 %
Sun Solaris	17041	0.1 %
FreeBSD	15677	0.0 %
NetBSD	562	0.0 %
OpenBSD	416	0.0 %
OSF Unix	289	0.0 %
CPM	265	0.0 %
その他	598	0.0 %

ブラウザ (トップ 10) - 全リスト/バージョン - 不明			
ブラウザ	Grabber	件数	パーセント
MS Internet Explorer	No	12787367	79.9 %
Mozilla	No	2267478	14.1 %
Opera	No	423653	2.6 %
Netscape	No	178260	1.1 %
Safari	No	172489	1.0 %
不明	?	94461	0.5 %
Sleipnir	No	33534	0.2 %
Konqueror	No	10298	0.0 %
1-Mode phone (PDA/Phone browser)	No	6582	0.0 %
Acrobat	Yes	5718	0.0 %
その他		14978	0.0 %

● アクセス元の検索エンジンランキング

このサイトへのアクセス元				
アクセス元	ページ	パーセント	件数	パーセント
直接URLを入力/お気に入りからのアクセス	142854	18.4 %	949384	5.9 %
ニュースグループからのリンク				
インターネット検索エンジンからのリンク - 全リスト	175709	22.7 %	209251	1.3 %
- Google Japan	109820	122653		
- Google	32370	32576		
- Yahoo	23139	23209		
- MSN Japan	3345	3345		
- Nifty	504	505		
- Google (Images)	190	291		
- Yahoo Cache	184	20303		
- その他	268	268		
外部ページからのリンク(検索エンジンを除く他のホームページ) - 全リスト	23259	3 %	47985	0.3 %
- http://72.14.203.104/search	1748	11475		
- http://pagead2.googleadsyndication.com/pagead/ads	856	1033		
- http://itbtech.it.co.jp/inst/inst_12.php	574	574		
- http://itbtech.it.co.jp/php/php_12.php	453	453		
- http://itbtech.it.co.jp/cgi-bin/php/namazucgi	404	404		
- http://www.it.co.jp	365	365		
- http://itbtech.it.co.jp/php/php_06.php	338	338		
- http://itbtech.it.co.jp/inst/inst_07.php	321	321		
- その他	16921	31743		
内部ページからのリンク(同じサイトの他のページ)	431296	55.7 %	14784745	92.4 %
起点が不明	66	0 %	3453	0 %

## ●検索フレーズ,検索ワードランキング

検索文字列(キーワード) (トップ 10) 全リスト			検索文字列(キーワード) (トップ 10) 全リスト		
79799 キーフレーズ	検索	パーセント	46836 キーワード	検索	パーセント
mojavi	1339	0.7 %	java	16988	5.2 %
jmeter	1162	0.6 %	php	9840	3 %
nessus	972	0.5 %	linux	7042	2.1 %
javadoc	801	0.4 %	eclipse	5872	1.8 %
cacti	690	0.4 %	perl	4183	1.2 %
要件定義	623	0.3 %	struts	3889	1.2 %
dbunit	492	0.2 %	c#	3242	1 %
eclipse cvs	449	0.2 %	postgresql	2975	0.9 %
postgresql インストール	400	0.2 %	インストール	2945	0.9 %
postfix	365	0.2 %	設定	2871	0.8 %
他のフレーズ	163369	95.7 %	他の言葉	263889	81.5 %

## ●ブラウザのお気に入りへの追加率

その他		
お気に入りへ追加	19570 / 75595 訪問者	25.8 %

## ●HTTP エラーコード

HTTPエラーコード			
HTTPエラーコード*	件数	パーセント	バイト
404 Document Not Found	45080	81.4 %	273.14 Mb
206 Partial Content	5727	10.3 %	60.04 Mb
302 Moved temporarily (redirect)	1945	3.5 %	201.44 Kb
400 Bad Request	804	1.4 %	323.76 Kb
104 Unknown error	590	1 %	11.78 Mb
500 Internal server Error	459	0.8 %	241.81 Kb
401 Unauthorized	402	0.7 %	157.42 Kb
301 Moved permanently (redirect)	233	0.4 %	55.53 Kb
103 Unknown error	46	0 %	148.12 Kb
503 Server busy	18	0 %	5.68 Kb
403 Forbidden	15	0 %	94.44 Kb
416 Requested range not valid	7	0 %	2.15 Kb

\* このチャートのコードは訪問者によるアクセスではありませんので他のチャートに含まれていません。

# Eメールの設定

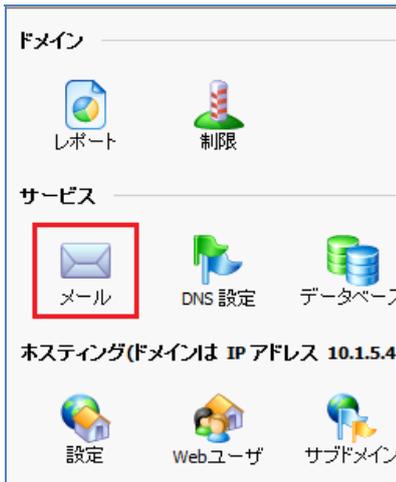
## ■ 1. メールアドレスの作成

メールアドレスはコントロールパネルから作成することができます。まずは管理ツールからコントロールパネルにログインしてください。

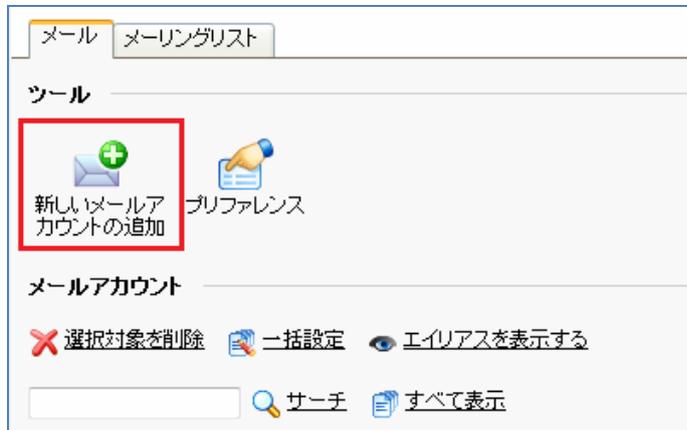
なおコントロールパネルへのログイン方法に関しては 4 ページを参照願います。

### 1.1 メールアドレス作成画面の起動

1) まず操作パネル上の「メール」アイコンをクリックしてください。



2) 続いて「新しいメール名を追加」アイコンをクリックしてください。



## 1.2 メールアドレス作成

下記 3 項目を入力して、ページ下部にある「OK」ボタンをクリックすればメールアドレスは作成できます。

メールアドレス名	メールアドレスの@より前の部分を入力してください。
新しいパスワード (※)	メールを送受信する際に使うお好きなパスワードを入力してください。
パスワードの確認	パスワードの確認入力になります。

※メールアドレスのパスワードを「1234」などのように簡易なもので設定しますと、悪意のあるユーザによりパスワードがクラックされる可能性がございます。

パスワードは半角英数字と記号の組み合わせなど推測されにくいものでご設定ください。

なお、下記のページで設定するパスワードの妥当性を調べることができますので参考にしてください。

マイクロソフトホームページ: パスワードチェッカー

<https://www.microsoft.com/japan/protect/yourself/password/checker.msp>

**メールアカウントプロパティ**

メールアカウント名 \*  @ example.com

古いパスワード 無

新しいパスワード

パスワードの確認

**コントロールパネルアクセス**

なお「mailbox」のチェックは必ず必要ですので、間違っ外さないようにしてください。

**コントロールパネルアクセス**

ボタンラベルの長さ

インターフェース言語 JAPANESE (Japan) ▼

インターフェーススキン WinXP Reloaded Compact ▼

複数セッションを許可する

インターフェース画面が完全に表示されるまで、ユーザがコントロールパネル上の作業を行えないようにする

**メールボックス**

Mailbox

メールボックスクォータ

- ドメイン(1.91 GB)のデフォルト設定
- サイズ入力  KB

\* 必須フィールド

これでメールアドレスの作成は完了しています。

**【備考】** メールアドレスでコントロールパネルへログインする  
 メールアドレスを作成すると、そのメールアドレスを使ってコントロールパネルに直接ログインすることが可能です。これによりメールアドレスを持つユーザが、メールの設定を自由に変更することができます。

<https://ドメイン名:8443/>

上記 URL にアクセスすると以下のようなログイン画面が表示されます。ここからメールアドレスとパスワードを使って設定画面にログインすることも可能です。

 **Plesk 8.3** にログインします

ログイン名を「ログイン」に、パスワードを「パスワード」フィールドに入力し、「ログイン」をクリックして下さい

ログイン

パスワード

インターフェース言語 ユーザーデフォルト ▼

[パスワードを忘れましたか?](#)

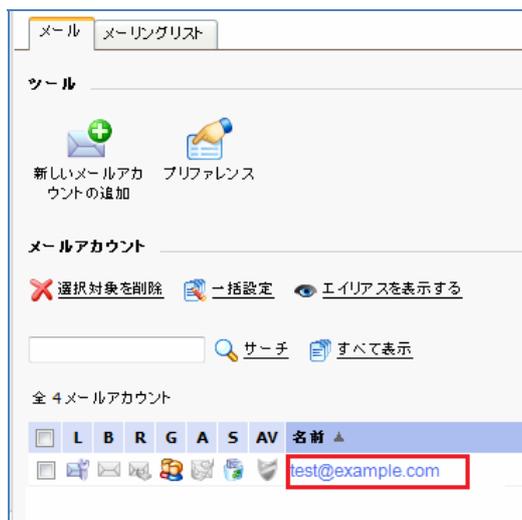
## ■ 2. メールボックスパスワードを変更する

ここではメールボックスのパスワード変更方法を説明します。  
パスワード変更は、コントロールパネルのメールの編集画面から行います。

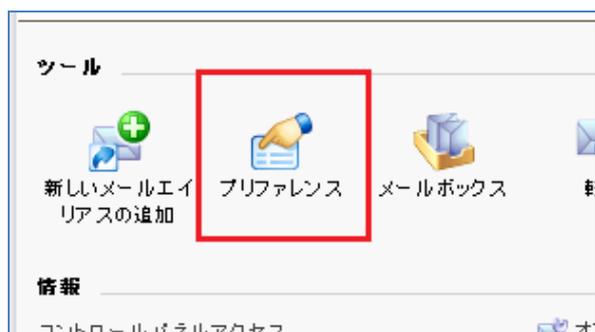
- 1) コントロールパネルにログインしたら、  
トップページにある「メール」アイコンをクリックしてください。



- 2) メール編集画面でパスワードを変更したいメール名をクリックします。



- 3 「プリファレンス」 ボタンをクリックします。



4) 設定項目の中の「新しいパスワード」および「パスワードの確認」に新しく設定したいパスワードを入力します。

The screenshot shows the 'メールアカウントプロパティ' (Mail Account Properties) dialog box. The 'メールアカウント名' (Mail Account Name) is 'test@example.com'. The '古いパスワード' (Old Password) is masked with asterisks. The '新しいパスワード' (New Password) and 'パスワードの確認' (Confirm Password) fields are highlighted with a red rectangle. Below these fields is the 'コントロールパネルアクセス' (Control Panel Access) section with a 'ボタンラベルの長さ' (Button Label Length) field.

5) 入力し終わったら「OK」ボタンを押して、設定を完了します。  
パスワードを変更したらご利用のメールソフトの設定もかならず変更してください。

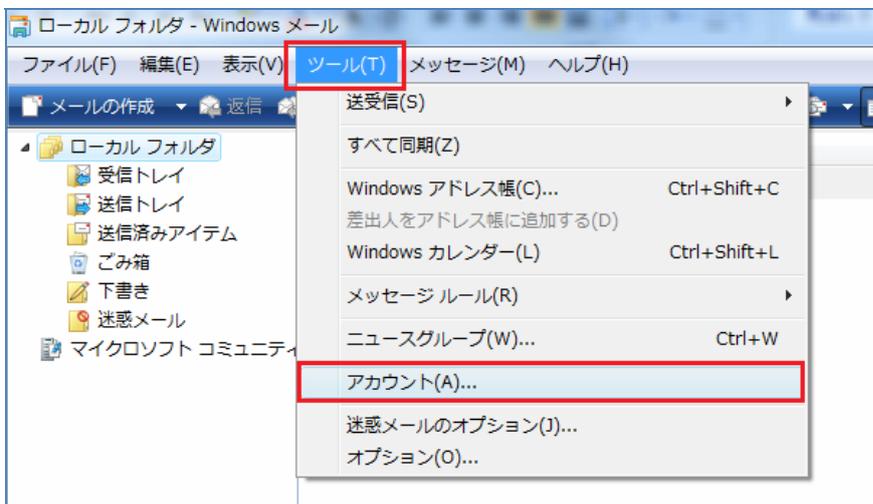
### ■ 3. Windows メール の設定

ここでは Windows メール を使ってメールの送受信をする方法を説明していきます。  
メールの送受信を行うためには事前にメールアドレスを作成しておく必要があります。  
(詳細は「メールアドレスの作成 p.51」を参照してください。)

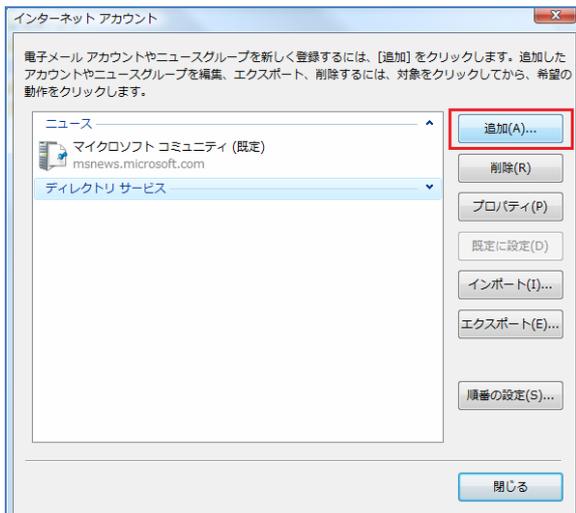
#### 3.1 Windows メール の起動

1) 「スタートメニュー」→「プログラム」から「Windows メール」を選択します。初めて起動するとダイアログが表示されるので「はい (Y)」をクリックします。メール設定の画面がでたら、次へ進みます。

2) Windows メールが起動したら「ツール」をクリックして「アカウント」を表示させます。



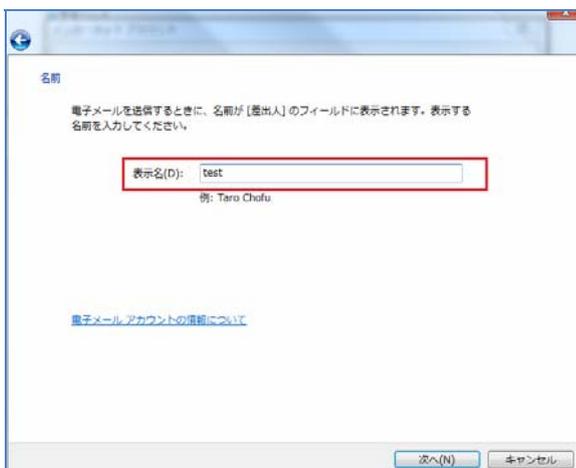
3) 「追加」をクリックします。



4) 「電子メールアカウント」を選択し、「次へ」をクリックします。

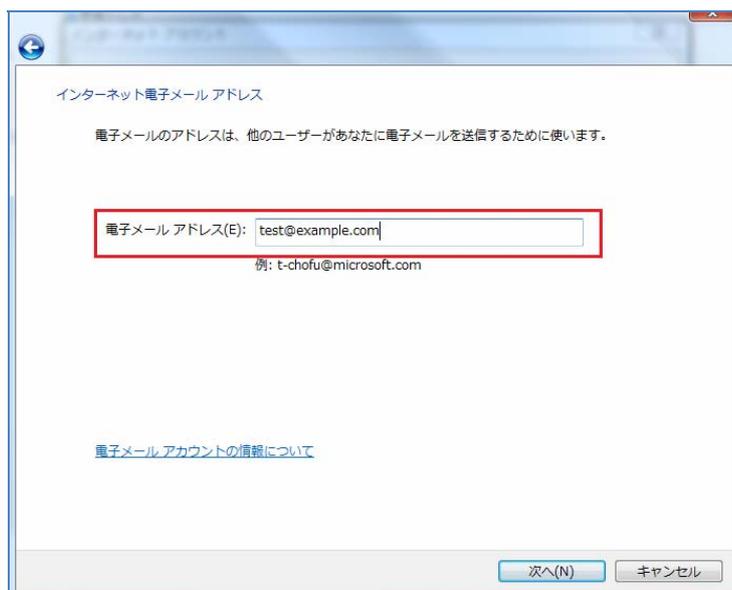


5) 「名前」画面が表示されますので、以下の入力を行い「次へ」ボタンをクリックします。



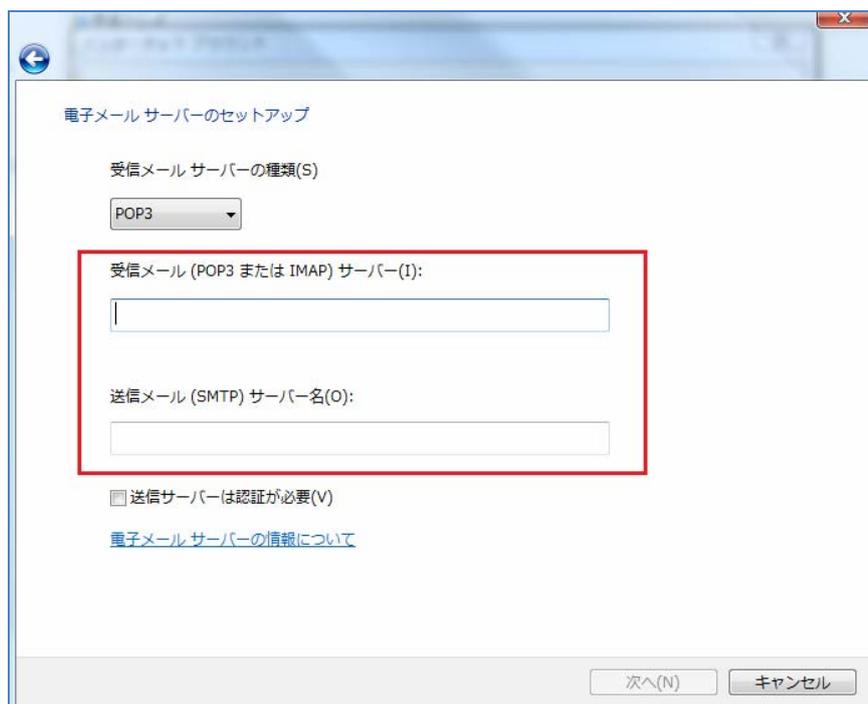
表示名	メール差出人として表示される名前を入力します。
-----	-------------------------

6) 「インターネット電子メールアドレス」画面が表示されますので、入力し「次へ」をクリックします。



電子メールアドレス	メールアドレスを入力します。
-----------	----------------

7) 「電子メールサーバのセットアップ」画面が表示されますので、以下の設定と入力を行い、「次へ」ボタンをクリックします。



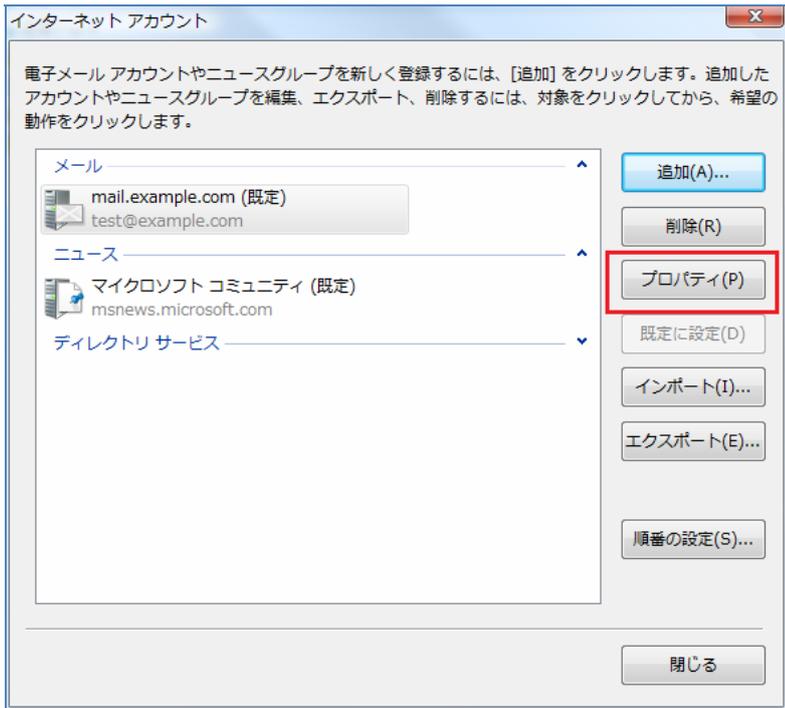
受信メールサーバーの種類	「POP3」を選択します。
受信メール (POP または IMAP) サーバー名	mail.ドメイン名
送信メール (SMTP) サーバー名	mail.ドメイン名
送信サーバーは認証が必要	チェックしません。

8) 「インターネットメールログオン」画面が表示されますので、以下の設定と入力を行い「次へ」ボタンをクリックします。

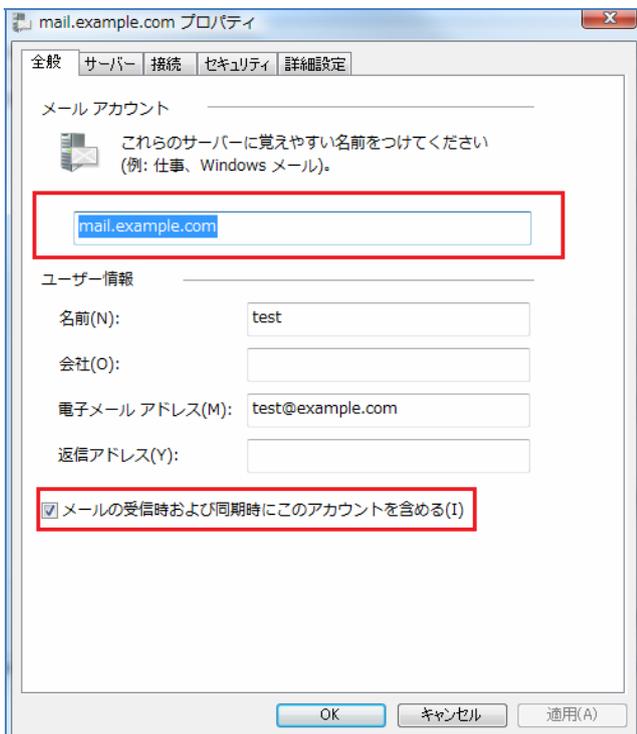
ユーザー名	メールアドレスの「@」の左側を入力します。
パスワード	コントロールパネルでメールアドレスを作成した際に設定したものを入力します。
パスワードを保存する	新着メールを確認する度にパスワードを入力したい場合は、チェックを外してください。

9) 「設定完了」画面が表示されますので、「完了ボタン」をクリックします。

10) 「インターネットアカウント」画面に戻りますので、「プロパティ」ボタンをクリックします。



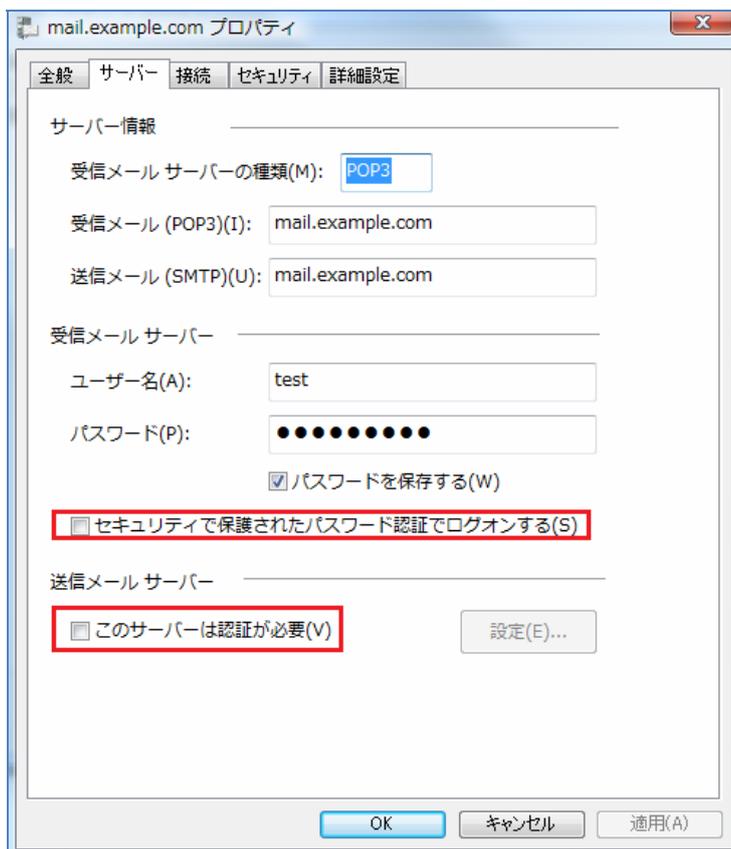
11) 「プロパティ」画面の「全般」タブが表示されますので、以下の設定と入力が行われているかを確認し、「適用」ボタンをクリックします。



メールアカウント	任意の名前
名前	お客様のお名前
会社	会社名
電子メールアドレス	メールアドレス

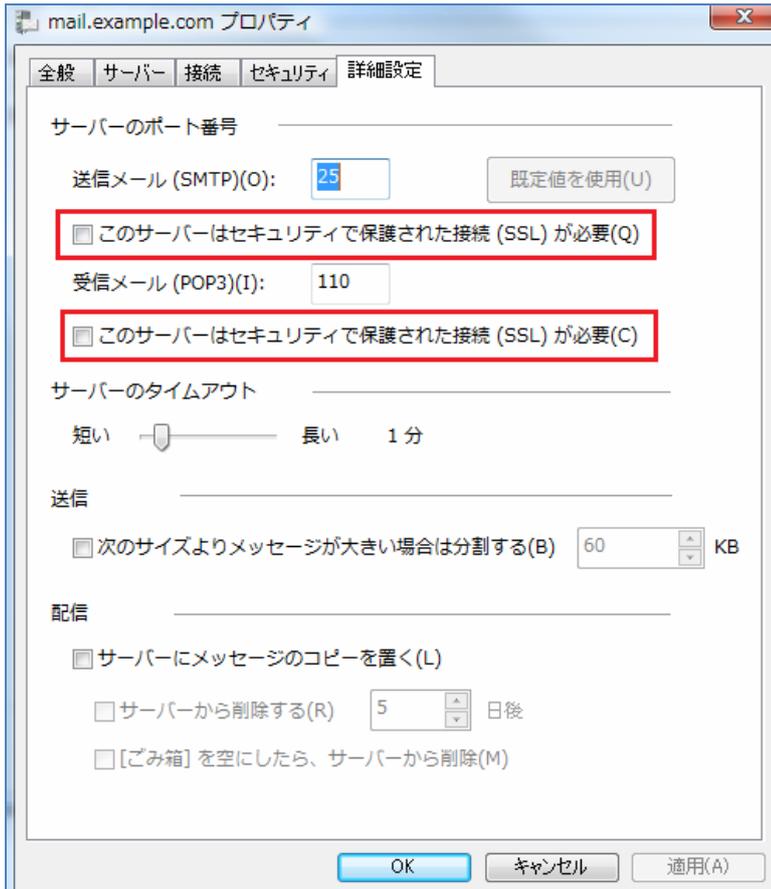
返信アドレス	返信アドレスを別途している場合は入力します。通常は設定の必要はありません。
メールの受信時及び同時期にこのアカウントを含める	チェックします。

12) 「サーバー」タブをクリックし、以下の設定と入力が行われているか確認し「適用」ボタンをクリックします。



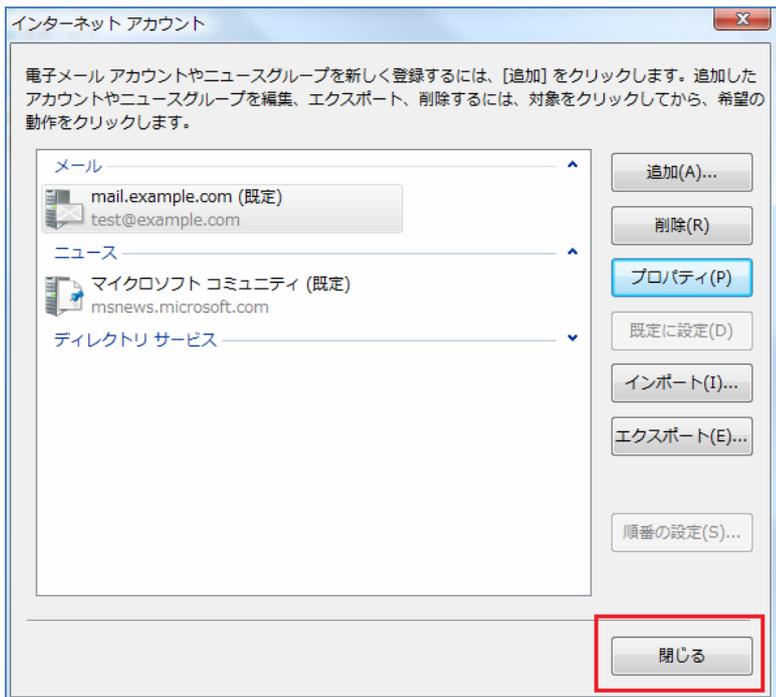
受信メールサーバーの種類	POP3
受信メール (POP3)	mail.ドメイン名
送信メール (SMTP)	mail.ドメイン名
ユーザー名	メールアドレスの「@」の左側
パスワード	メールパスワード
パスワードを保存する	新着メールを確認する度にパスワードを入力したい場合は、チェックを外してください。
セキュリティで保護されたパスワード認証でログオンする	チェックしません
このサーバーは認証が必要	チェックします。

13) 「詳細設定」タブを選択し、以下のように設定し「OK」ボタンをクリックします。



送信メール (SMTP)	送信ポート番号は、「25」もしくは「587」を利用します。 プロバイダによっては、25 番ポートへのアクセスが行なえません。 25 番ポートで送信ができない場合は、587 番ポート番号への変更を行ないます。 ※25 番ポートへのアクセスの可否については、契約プロバイダにご確認ください。
このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要	チェックしません。(送信メール・受信メール両方)
受信メール (POP3)	110
サーバーのタイムアウト	※通常は変更不要ですが、自由に設定が可能です。
次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する	※通常は変更不要ですが、自由に設定が可能です。
サーバーにメッセージのコピーを置く	Web メールを利用する場合はチェックを入れます。
サーバーから削除する	※通常は変更不要ですが、自由に設定が可能です。
「ゴミ箱」を空にしたら、サーバーから削除	※通常は変更不要ですが、自由に設定が可能です。

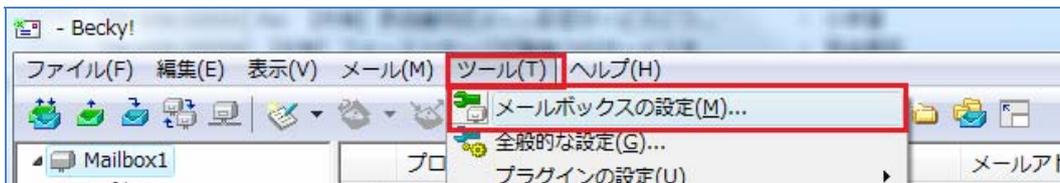
14. 「閉じる」を押して設定完了です。



## ■4. Becky ! の設定

### 1) 基本設定

「ツール」 >> 「メールボックスの設定」をクリックします。



### 2) 個人情報を設定します。

メールボックス名	任意の名前
名前	メール送信時の送信者名（From）に使用されます。
メールアドレス	メール送信時の送信者アドレスに使用されます。
POP サーバー（受信）	mail.ドメイン名
SMTP サーバー（送信）	mail.ドメイン名
ユーザーID	メールアドレスの「@」の左側
パスワード	メールアドレス作成時に設定したパスワード

#### 4) 詳細設定

メール送信を安全に行うために、SMTP 認証を有効にします。詳細タブをクリックしてください。

SMTP 認証・CRAM-MD5・LOGIN の 3 か所をチェックしてください。設定はこれで完了です。「OK」ボタンをクリックして設定を有効にしてください。

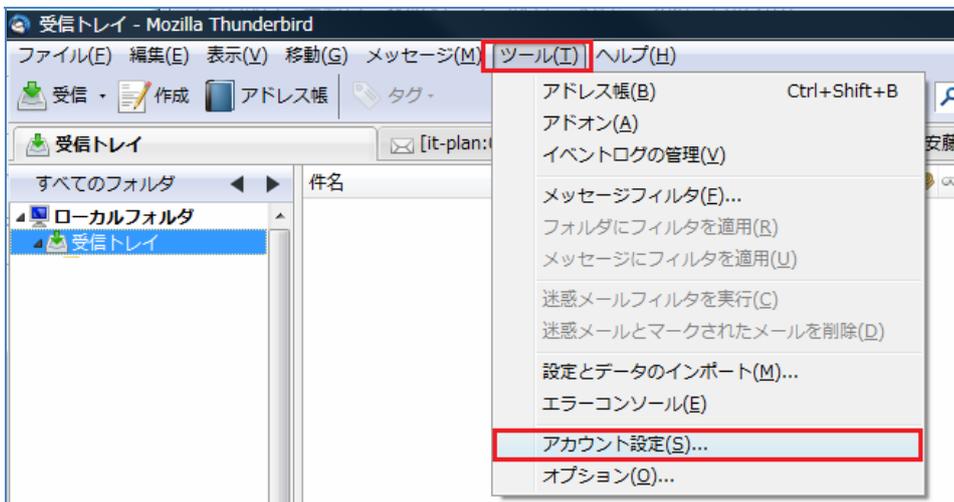
プロバイダによっては、SMTP サーバーが 25 番ポートではなく、587 番ポートを使用している場合もございます。

※使用しているポートについてはご契約プロバイダ様へご確認ください。

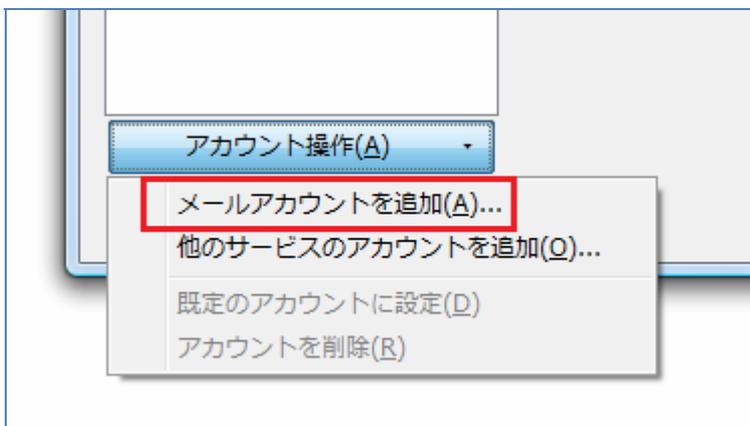


## ■5. Thunderbird の設定

1) 「ツール」 >> 「アカウント設定」 をクリックします。



2) 「アカウント相操作」 >> 「メールアカウントを追加」 をクリックします。



3) 必要情報を入力し「続行」 をクリックします。

メールアカウント設定

あなたの名前(N): test 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L): test@example.com

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M)

キャンセル(A) 続行(C)

あなたの名前	メール送信時の送信者名（From）に使用されます
メールアドレス	設定するメールアドレス
パスワード	メールアドレス作成時に設定したパスワード
パスワードを記憶する	チェックします。

4) アカウントの設定を検索し、完了後「編集」をクリックします。

メールアカウント設定

あなたの名前(N): test 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L): test@example.com

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M) [はじめからやり直す\(O\)](#)

Thunderbird はあなたのメールアカウントの設定を見つけました。

ユーザ名: test **編集(E)**

● 受信サーバ: mail.example.com IMAP 143 STARTTLS

● 送信サーバ: mail.example.com SMTP 587 STARTTLS

詳細設定(S)... キャンセル(A) アカウント作成(C)

5) 各項目を入力し、「設定を再テスト」をクリックします。

メールアカウント設定

あなたの名前(N): test 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L): test@example.com

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M) [はじめからやり直す\(O\)](#)

Thunderbird はあなたのメールアカウントの設定を見つけました。

ユーザ名: test **設定を再テスト(R)**

受信サーバ: mail.example.com POP 110 接続の保護なし

送信サーバ: mail.example.com SMTP 587 接続の保護なし

詳細設定(S)... キャンセル(A) アカウント作成(C)

受信サーバー	サーバー名	mail.ドメイン名
	認証方法	「POP」を選択
	ポート番号	「110」に変更
	接続の保護	「接続の保護なし」に変更
送信サーバー	サーバー名	mail.ドメイン名
	認証方法	SMTP
	ポート番号	「25」もしくは「587」
	接続の保護	「接続の保護なし」に変更

## 6) アカウント作成をクリック

メールアカウント設定

あなたの名前(N): test 受信者に表示される名前です。  
 メールアドレス(L): test@example.com  
 パスワード(P): ●●●●●●●●  
 パスワードを記憶する(M) [はじめからやり直す\(O\)](#)

Thunderbird はあなたのメールアカウントの設定を見つけました。

ユーザ名: kando [編集\(E\)](#)

● 受信サーバ:	mail.example.com	POP	110	接続の保護なし
● 送信サーバ:	mail.example.com	SMTP	587	接続の保護なし

[詳細設定\(S\)...](#) [キャンセル\(A\)](#) [アカウント作成\(C\)](#)

## 7) 警告表示の内容を確認し、アカウント作成

※警告が出ますが、セキュリティ的に問題はありませんのでご安心ください。

メールアカウント設定

**警告!**

受信サーバ設定: )への接続は暗号化されません。  
 ▶ 技術的な詳細

送信サーバ設定: )への接続は暗号化されません。  
 ▶ 技術的な詳細

提供された設定を使用して Thunderbird であなたのメールを受信することができます。ただし、これらの接続が不適当でないか、サーバの管理者またはメールプロバイダと連絡をとってください。詳しい情報は Thunderbird FAQ をご覧ください。

接続する上での危険性を理解しました(L) [設定変更\(S\)](#) [アカウント作成\(C\)](#)

## 8) 認証方式

メールが送信できない場合は、以下の設定をご確認ください。

ツール>>アカウント設定>>送信 (SMTP) サーバー

送信 (SMTP) サーバー

設定

説明(D):

サーバ名(S): mail.example.com

ポート番号(P): 25 既定値: 25

セキュリティと認証

ユーザー名とパスワードを使用する(U)

ユーザー名(M):

保護された認証を使用する(I)

接続の保護(N): なし

OK キャンセル

■ ポート番号に入力されている数字が、プロバイダ指定のものになっているかご確認ください。

ポート番号 ※ご利用のプロバイダ様にご確認ください	「25」もしくは「587」
------------------------------	---------------

■ 認証方式

SMTP 認証を利用する場合	1. 「ユーザー名とパスワードを使用する」にチェック 2. ユーザー名にメールアドレスの「@」の左側を入力
POPbeforeSMTP 認証を利用する場合	「ユーザー名とパスワードを使用する」にチェックしない

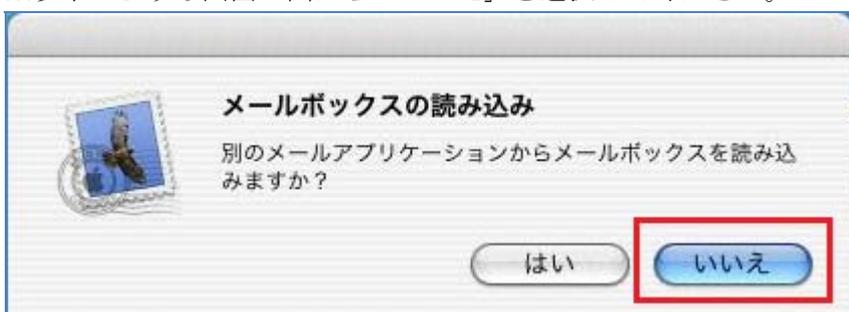
## ■ 6. Mac osX Mail の設定

1) Mail を起動し、必要情報を記入します。



氏名	メール送信時の送信者名 (From) に使用されます。
メールアドレス	設定するメールアドレス
受信用メールサーバ	mail.ドメイン名
アカウントの種類	「POP」を選択
ユーザ名	メールアドレスの「@」の左側
パスワード	メールアドレス作成時に設定したパスワード
送信用メールサーバ (SMTP)	mail.ドメイン名

※以下のような画面が出たら「いいえ」を選択してください。



2) SMTP 認証の設定

メニューバーの「Mail」>>「環境設定」をクリックします。



4) アカウントダイアログを確認し、「サーバ設定」ボタンをクリックします。



5) 「SMTP サーバのオプション」に必要情報を入力します。

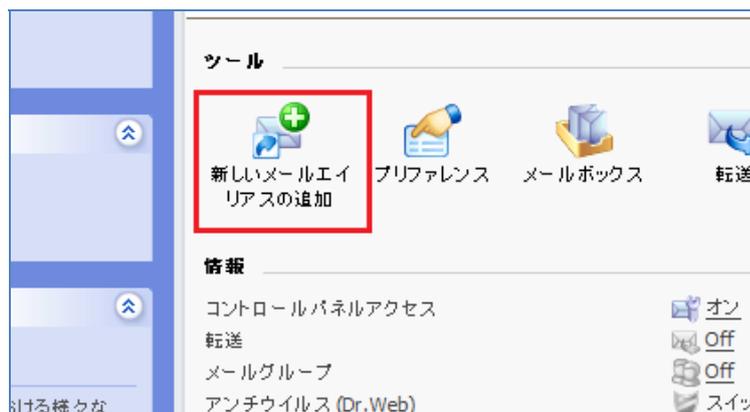


ポート番号 ※ご利用のプロバイダ様にご確認ください	「25」もしくは「587」
認証	「パスワード」を選択
ユーザ名	メールアドレスの「@」の左側
パスワード	メールアドレス作成時に設定したパスワード

## ■ 7. メールエイリアスを作成する

エイリアスは別名という意味です。メールエイリアスはその名前のおり、メールアドレスに別名をつけて本名と別名どちらでもメールを受け取れるようにする仕組みです。エイリアスに送信されたメールは、実際にはエイリアスを作成した本当のアドレスに届きます。

- 1) まずエイリアスを設定したいメールアドレスの設定ページにはいったら「新しいメールエイリアスを追加」をクリックします。



- 2) すると以下のフォームが現れますので、メールアドレスの「@」より前の部分に割り当てたい文字列を入力します。入力したら「OK」ボタンを押します。

- 3) するとページの下部にある「メールエイリアス」のところに今入力したメールエイリアスが表示されます。



この状態で、master@に送信されたメールは、実際には test@ドメインに届くようになります。

## ■ 8. メールリングリストの利用

ここではメールリングリストの作成から利用開始までの方法を説明していきます。

### 8.1 メールリングリストの作成

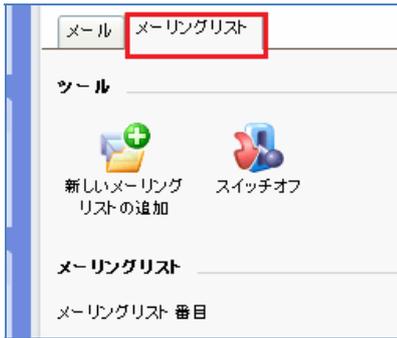
メールリングリストの作成はコントロールパネルから行います。

なおコントロールパネルへのログイン方法に関しては 4 ページを参照願います。

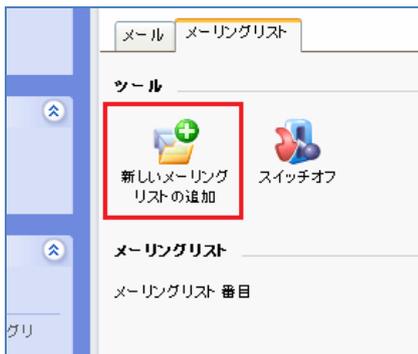
1) 「メール」アイコンをクリックしてください。



2) 「メールリングリスト」タブをクリックします。



3) 「新しいメーリングリストを追加」アイコンをクリックしてください。



5) 以下に各項目の内容を記載しておきます。

メーリングリスト名	メーリングリストアドレスの「@」の左側を入力
パスワード	メーリングリストの管理画面へログインする為のパスワード
メーリングリスト管理者のメールアドレス	メーリングリスト管理者のメールアドレスを入力します。
作成を管理者に通知する	チェックを入れます。

この時点ですでにメーリングリストは作成され使用可能な状態となっています。ただ最初は、誰もメンバが登録されていない状態です。次の「2.メーリングリストへのメンバ登録」に従い、

メンバの登録を行ってください。

**【注意】** コントロールパネルからはメンバ追加を行わないでください。メンバ追加や設定に関してはメーリングリスト専用の設定ページから行います。コントロールパネルからのメンバ追加を行った場合のメーリングリストの動作保証はいたしかねますのでご注意ください。

## 8.2 メーリングリストへのメンバ登録

メーリングリストを作成すると、設定した「メーリングリスト管理者のメールアドレス」宛てに「あなたの新しいメーリングリスト:」という件名でメールが届きます。以下のように「<http://lists.ドメイン名/mailman/admin/ML名>」でアクセスするとメーリングリスト管理ページにアクセスすることができます。

メーリングリストの設定を行うにはこのパスワードが必要です。  
また、発言の制限があるリストへの投稿を承認する場合など、管理上の申請を処理する際にも必要になります。

メーリングリストの設定は以下の Web ページで行うことができます。

[http://lists.example.com/mailman/admin/mailing\\_list](http://lists.example.com/mailman/admin/mailing_list)

一般のリスト会員用の Web ページは、以下の URL になります。

[http://lists.example.com/mailman/listinfo/mailing\\_list](http://lists.example.com/mailman/listinfo/mailing_list)

1) メーリングリスト作成時に設定したパスワードを入力してログインしてください。

**Mailing\_list 管理者 認証**

リスト 管理者 パスワード:

2) 「会員管理」をクリックして「まとめて入会登録」をクリックしてください。

**設定分類**

● <a href="#">全体的オプション</a>	● <a href="#">プライバシー・オプション...</a>
● <a href="#">パスワード</a>	● <a href="#">配送エラー処理</a>
● <a href="#">言語オプション</a>	● <a href="#">保存書庫オプション</a>
● <a href="#">会員管理...</a>	● <a href="#">メール &lt;-&gt; ニュース相互配送</a>
○ <a href="#">会員リスト</a>	● <a href="#">自動応答</a>
○ <b><a href="#">まとめて入会登録</a></b>	● <a href="#">添付ファイル除去</a>
○ <a href="#">まとめて退会処理</a>	● <a href="#">話題</a>
● <a href="#">普通配送オプション</a>	
● <a href="#">「まとめ読み」オプション</a>	

3) まとめて入会登録から 1 行に 1 アドレスを入力して、「変更を送信する」ボタンをクリックしてください。

まとめて入会登録		
これらのアドレスをすぐに登録しますか? それとも招待しますか?	<input checked="" type="radio"/>	入会を申し込む
新入会員に歓迎メールを出しますか?	<input type="radio"/> いいえ <input checked="" type="radio"/>	はい
リスト管理者に新規入会を通知しますか?	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい
1行に1アドレスを入力...		
<input type="text" value="test@example.com"/> <input type="text" value="administrator@example.com"/> <input type="text" value="webmaster@example.com"/>		

これでメーリングリストへのメンバ登録は完了です。

### 8.3 Reply-To の設定

メーリングリスト作成初期の状態では、届いたメールに返信すると差出人（メールを送信した人）にメールを送るようになってます。多くのメーリングリストでは、返信時にメーリングリストに再投稿する設定での使い方が多くなっています。ここでは設定を変更して、返信した時にメーリングリストへ送信できるようにします。

1) 「全体的オプション」をクリックしてください。

設定分類	
<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>[全体的オプション]</b></li><li>● <a href="#">パスワード</a></li><li>● <a href="#">言語オプション</a></li><li>● <a href="#">会員管理...</a></li><li>● <a href="#">普通配送オプション</a></li><li>● <a href="#">「まとめ読み」オプション</a></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <a href="#">プライバシー・オプション...</a></li><li>● <a href="#">配送エラー処理</a></li><li>● <a href="#">保存書庫オプション</a></li><li>● <a href="#">メール&lt;-&gt;ニュース相互配送</a></li><li>● <a href="#">自動応答</a></li><li>● <a href="#">添付ファイル除去</a></li><li>● <a href="#">話題</a></li></ul>

2) 以下の部分を「このリスト」に変更し、ページ下部にある「変更を送信する」ボタンをクリックします。

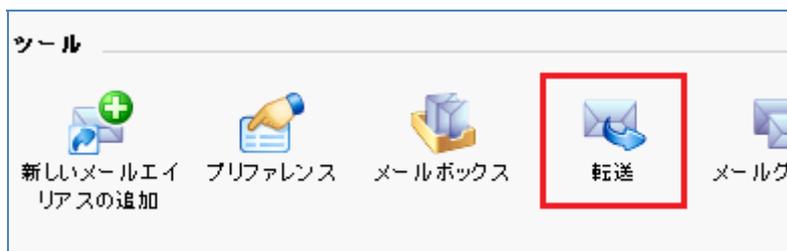
<a href="#">(first_reply_toの編集)</a>	
投稿された記事の返信先を選んでください。(ほとんどのメーリングリストでは 投稿者 を選ぶことを 強く推奨します。 <a href="#">(reply_goes_to_listの詳細)</a>	<input type="radio"/> 投稿者 <input checked="" type="radio"/> このリスト <input type="radio"/> 別のアドレス
<a href="#">別のReply-To:アドレス</a>	

これで、メーリングリストの基本的な設定は完了です。

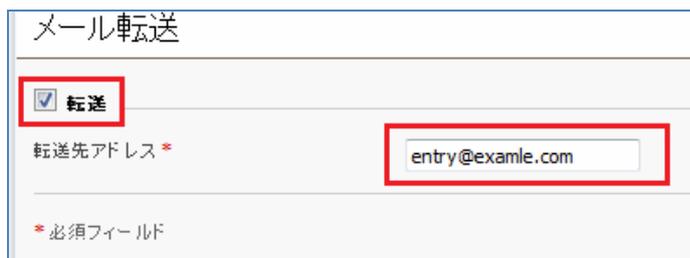
## ■ 9. メールを他のアドレスへ転送する

ここでは、メールアドレスに届いたメールを他のアドレスに転送する方法を説明していきます。まずはコントロールパネルから、転送設定を行いたいメールアドレスを選び設定画面を表示します。

- 1) 転送ボタンをクリックし、転送設定画面を表示します。



- 2) 転送のチェック欄にチェックを入れ、転送したいアドレスを「転送先アドレス」の項目に入力後「OK」ボタンを押します。



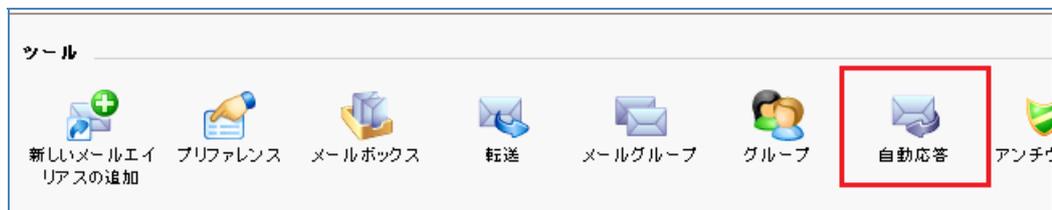
- 3) 赤枠で囲まれた「転送」の欄が「オン」になっていたら設定は完了です。



## ■ 10. メール自動応答の設定をする

ここでは受信したメールに対して自動的に返信させる設定をします。

- 1) まずはコントロールパネルから、設定を行いたいメールアドレスを選び設定画面を表示し、「自動応答」のアイコンをクリックします。



- 2) すると自動応答の設定画面がでてきますので「新しい自動応答を追加」のアイコンをクリックします。



- 3) 以下の画面がでてきたら、設定をしていきます。

The screenshot shows the 'プリファレンス' (Preferences) screen for auto-reply settings. The '自動応答名' (Auto Reply Name) field contains 'sample'. The '受信メールの転送先アドレス' (Forwarding address for received mail) field is empty. The '状態' (Status) section has '指定ワード' (Specified words) set to '常に返信します' (Always reply). The '返信の件名' (Reply subject) field contains 'Re: <request\_subject>'. The '返信' (Reply) section has '返信先アドレス' (Reply-to address) set to 'sample@example.com', 'メール送信時のフォーマット' (Email format) set to '平文テキスト' (Plain text), and 'エンコード' (Encoding) set to 'UTF-8'. The '返信テキスト' (Reply text) field contains the text: 'お問い合わせありがとうございました。営業時間中に返信させていただきます。' (Thank you for your inquiry. We will reply during business hours.)

以下に各項目の内容を記載しておきます。

自動応答名	この自動応答の名前です。単なる識別名ですので何でもかまいません。
指定ワード	常に自動応答するか、一定の言葉が来た場合のみ自動応答するかを選択します。件名、本文の中に指定するする単語があった場合に自動応答したいときはその単語を入力します。
返信の件名	返信時の件名を指定します。自動応答する際、返信メールの件名はここに入力したものになります。
返信先アドレス	ここにアドレスを入力した場合、メールを受信したとき自動応答は必ずそのアドレスに返信メールを送ります。
メール送信時のフォーマット	返信メールのフォーマットを選択します。
エンコード	返信メールの文字エンコードを選択します。通常は ISO2022JP(JIS)を選択してください。
返信テキスト	返信メールの本文をここに記載します。

4) その下には少し応用的な設定項目があります。

**制限**

同一のアドレスへの返信上限回数: \*  回/日

保存 - \*  一意なメールアドレス

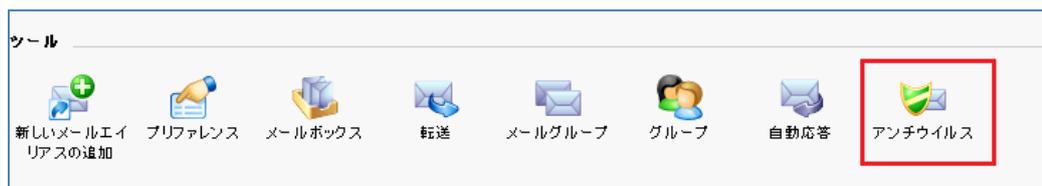
同一のアドレスへの返信上限回数	同一のアドレスから一日に何度もメールが送られてきた場合、何回まで返信するかを設定します。
保存	自動応答が記録するアドレスの数を設定します。

## ■ 11. ウイルスソフトの設定をする

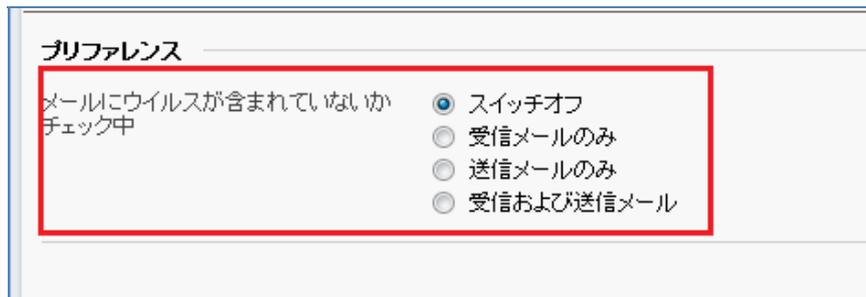
オプションでウイルスチェックのご契約を追加していただくと、送受信するメールに関してウイルスの有無をチェックすることが可能となります。

各メールアドレスのウイルスチェックは以下の手順で有効にすることができます。

1) まずはコントロールパネルから、設定を行いたいメールアドレスを選び設定画面を表示し、「アンチウイルス」のアイコンをクリックします。



2) 下のようなページが表示されますので、ウイルスチェックを行いたい対象をチェックして「OK」ボタンをクリックすれば、該当のメールアドレスに対してウイルスチェック機能が有効となります。



受信メールのみ	ご利用サーバを介して受信するメールのみウイルスチェックの対象となります。
送信メールのみ	ご利用サーバを介して送信するメールのみウイルスチェックの対象となります。
受信および送信メール	ご利用サーバを介して送受信されるすべてのメールがウイルスチェックの対象となります。

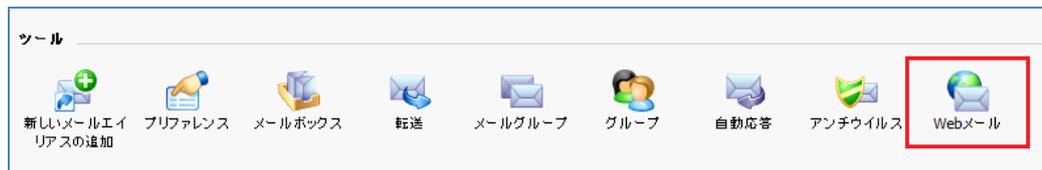
## ■ 12. Web メールを利用する

例えば、自宅やオフィスなど別な環境で同じメールアドレスを利用したいという場合は、2つのメールソフトで同じ設定を行わなければいけません。そんな場合は、Web メールを利用することによってインターネットエクスプローラなどのブラウザ経由でメールの送受信が行えます。

メールアドレスをまだ作成していない場合は、44ページを参考にメールアドレスを事前に作成しておいてください。

### 12.1 ログイン

コントロールパネルから、ログインし、[メール]→[該当メールアドレス]→[Web メール]をクリックします。

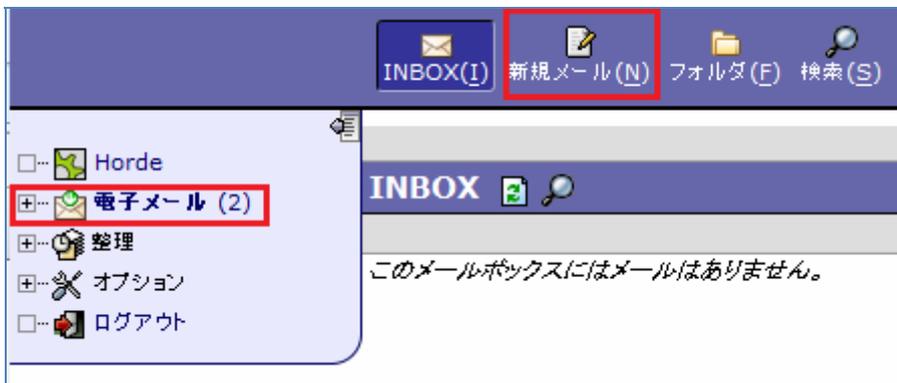


続いてメールアドレス作成時に設定したメールアドレスとパスワードを入力して、ログインをクリックします。



## 12.2 メールの送信

メールを送信するためには、[Mail]をクリックしてその後[新規メール]をクリックします。



宛先や本文を入力して問題が無ければ[メールの送信]をクリックします。

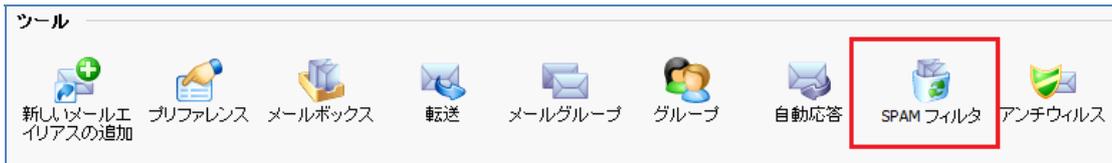


以上でメールの送信は完了です。

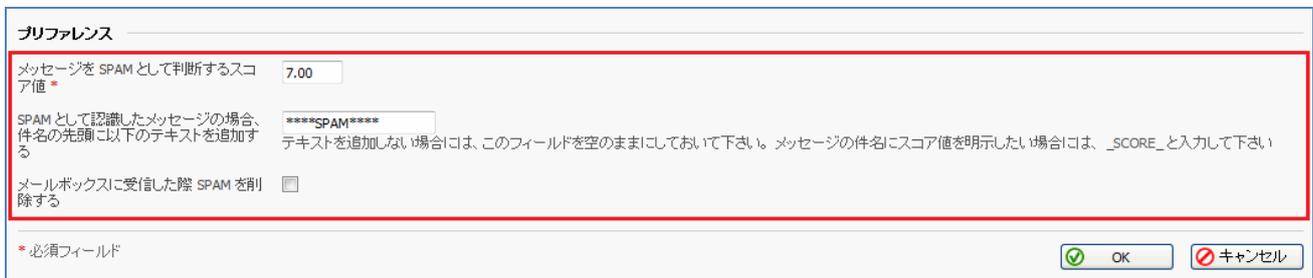
## ■ 13. スпамフィルタの設定をする

勝手に送りつけられる必要の無いメールをいちいち削除するのは意外と大変なものです。ここでは、そのようなスパムメールを自動的に削除するためのスパムフィルタの設定方法を説明します。

1) コントロールパネルから、ログインし、[メール]→[該当メールアドレス]→[SPAM フィルタ]をクリックします。



### ● パーソナル設定



The image shows a 'プリファレンス' (Preferences) form. A red box highlights the following fields:

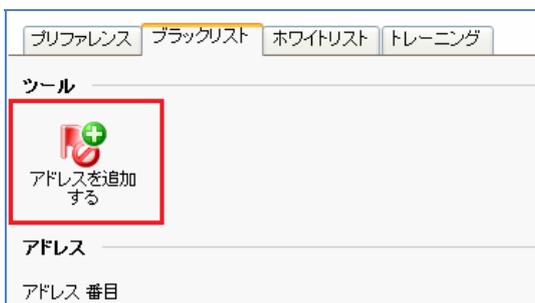
- 'メッセージを SPAM として判断するスコア値 \*' (Message score for SPAM): 7.00
- 'SPAM として認識した場合、件名の先頭に以下のテキストを追加する' (Add text to subject line): \*\*\*\*SPAM\*\*\*\*
- 'メールボックスに受信した際 SPAM を削除する' (Delete SPAM from mailbox):

At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. A note at the bottom left says '\* 必須フィールド' (Required field).

メッセージを SPAM として判断するスコア値	スパムフィルタの精度を設定します。問題がなければ初期値の「7」のままで運用してください。
SPAM として認識した～	チェックをつけ、題名を入力します。
メールボックスに受信した SPAM を削除する	通常はチェックしません。

### ● ブラックリスト

1) 「アドレスを追加する」をクリックします。



The image shows the 'ブラックリスト' (Blacklist) tab selected in a control panel. Under the 'ツール' (Tools) section, the 'アドレスを追加する' (Add address) button is highlighted with a red rectangular box. Below it, there is an 'アドレス' (Address) section with a label 'アドレス 番目' (Address number).

2) ブラックリストに登録するアドレスを追加します。

The dialog box is titled 'ブラックリストにアドレスを追加する' (Add address to Blacklist). It has two tabs: 'ファイルより取得' (Get from file) and 'リストより取得' (Get from list). The 'リストより取得' tab is selected. Under this tab, there is a 'メールアドレス' (Email address) input field. Below the input field, there is a small text box with instructions: '複数のアドレスは、改行して入力するか、スペース、タブ、カンマまたはセミコロンにて区切り入力して下さい。非 ASCII 文字は @ (アットマーク) 以前のアドレス部分に含めることはできません。アドレス指定には、\*\* や ? などのワイルドカードを利用することが可能です。(例. \*@domain.com, user?@\*.com) 非 ASCII 文字のラベルを、ワイルドカード内にて利用しないようにして下さい' (For multiple addresses, please enter them separated by line breaks, spaces, tabs, commas, or semicolons. Non-ASCII characters cannot be included in the address part before the @ symbol. Wildcards such as \*\* and ? can be used for address specification. (Example: \*@domain.com, user?@\*.com) Do not use non-ASCII characters in labels within wildcards). At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

## ●ホワイトリスト

1) 「アドレスを追加する」をクリックします。

The screenshot shows a 'ツール' (Tools) menu. The menu items are 'プリファレンス' (Preferences), 'ブラックリスト' (Blacklist), 'ホワイトリスト' (Whitelist), and 'トレーニング' (Training). The 'ホワイトリスト' item is highlighted with an orange bar. Below the menu items, there is a button with a green plus sign and a checkmark, labeled 'アドレスを追加する' (Add address). This button is highlighted with a red box. Below the button, there is a table with the following structure:

アドレス	
アドレス	番目

2) ホワイトリストに登録するアドレスを追加します

The dialog box is titled 'ホワイトリストにアドレスを追加する' (Add address to Whitelist). It has two tabs: 'ファイルより取得' (Get from file) and 'リストより取得' (Get from list). The 'リストより取得' tab is selected. Under this tab, there is a 'メールアドレス' (Email address) input field. Below the input field, there is a small text box with instructions: '複数のアドレスは、改行して入力するか、スペース、タブ、カンマまたはセミコロンにて区切り入力して下さい。非 ASCII 文字は @ (アットマーク) 以前のアドレス部分に含めることはできません。アドレス指定には、\*\* や ? などのワイルドカードを利用することが可能です。(例. \*@domain.com, user?@\*.com) 非 ASCII 文字のラベルを、ワイルドカード内にて利用しないようにして下さい' (For multiple addresses, please enter them separated by line breaks, spaces, tabs, commas, or semicolons. Non-ASCII characters cannot be included in the address part before the @ symbol. Wildcards such as \*\* and ? can be used for address specification. (Example: \*@domain.com, user?@\*.com) Do not use non-ASCII characters in labels within wildcards). At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

このリストに一致するメールアドレスは常にスパムメールではない無害なメールと認識されます。リストに追加するときは上の E-mail パターンフィールドにアドレスを入力し、追加ボタンを

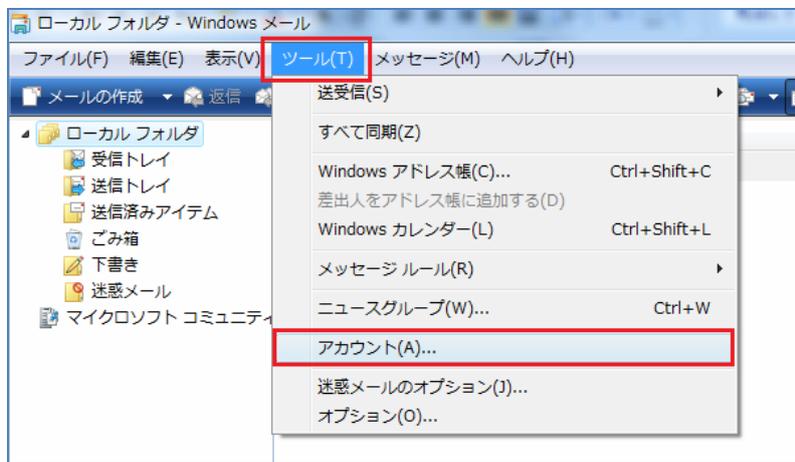
押します。逆に削除するときはリストからアドレスを選び、削除ボタンをクリックします。

このほかにも、メールヘッダーから自動的にスパムを見分けるトレーニングツールもご利用いただけます。

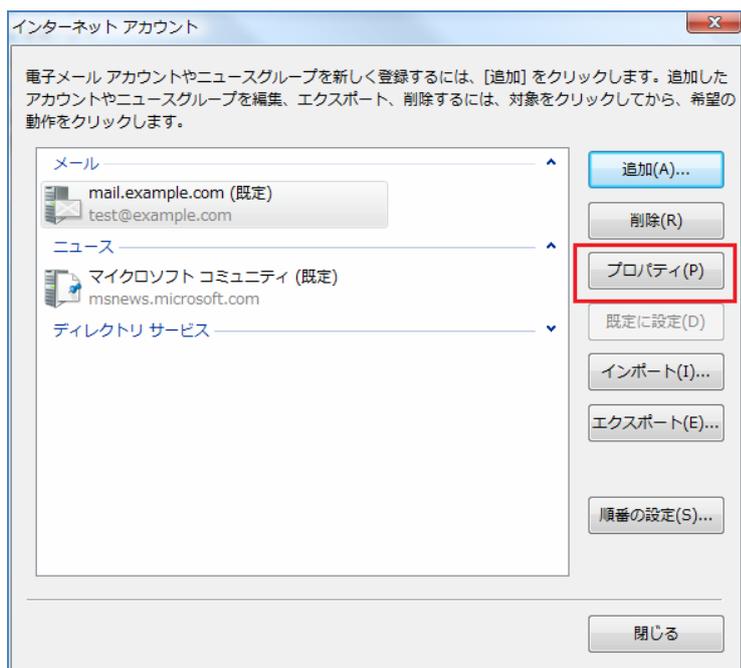
スパムフィルタのトレーニング対象となるのはサーバ上に保存されているメールだけです。そのため、スパムフィルタのトレーニングをおこなう場合は、事前に メールソフトを設定し、サーバにメールを残すようにしておくか、メールを受信する前にトレーニングをおこなってください。

ここでは Windows メールでサーバにメールを残す設定方法を紹介します。

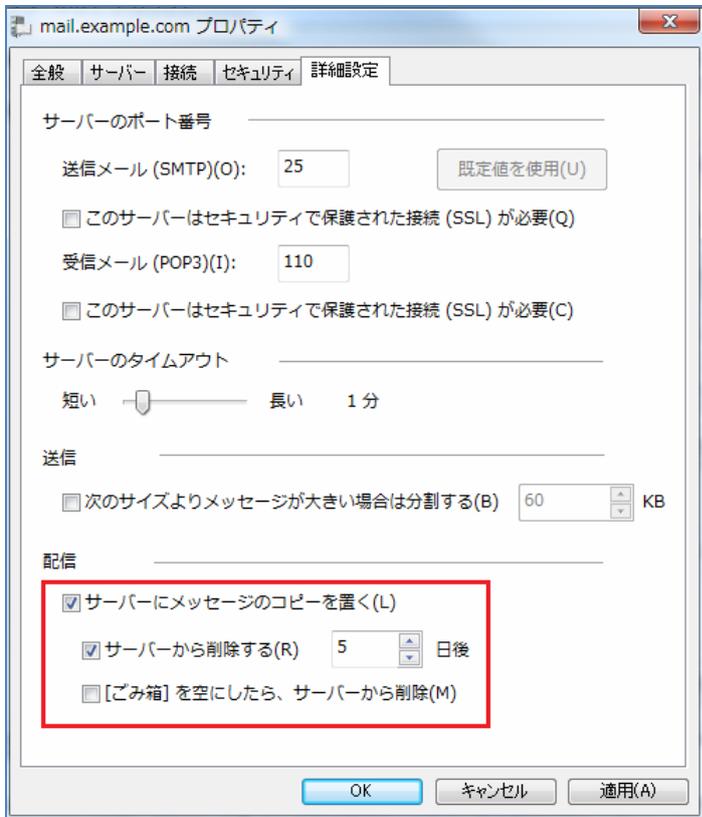
1) Windows メール画面内にある、「ツール(T)」タブをクリックし「アカウント(A)」を選択します。



2) 設定を行いたいメールアドレスを選択し、「プロパティ (P)」を選択します



3) 「詳細設定」タブ内の配信欄の「サーバーにメッセージを置く」のチェックボックスにチェックを入れます。必要に応じて「サーバから削除する」、「[ごみ箱]を空にしたら、サーバから削除」にチェックをいれます。



以上で設定は終わりです。

### ●SPAM 判断の学習

SPAM かどうかの判断は非常に繊細であるため、実際に学習効果が現れるまでには「SPAM」として 200 件以上、「SPAM でない」として 200 件以上の登録が必要となります。精度を高めるためにはより多くのメールを学習させてください。

1) スпамフィルターのページの上部にある「トレーニング」ボタンをクリックします。  
スパムフィルタートレーニングの画面が表示されます。



メールに受信されているメールが一覧表示されています。このメールをスパムメールと通常メールに振り分けて登録することで、スパムメールの判別の精度を高めることができます。

スパムに該当するメールの左端のチェックボックスにチェックを入れて「Spam です」をクリックすることで、スパムメールとして登録できます。

逆に「SPAM ではありません」をクリックすることで、非スパムとして学習します。

学習件数は画面上部の「情報」に示されます。

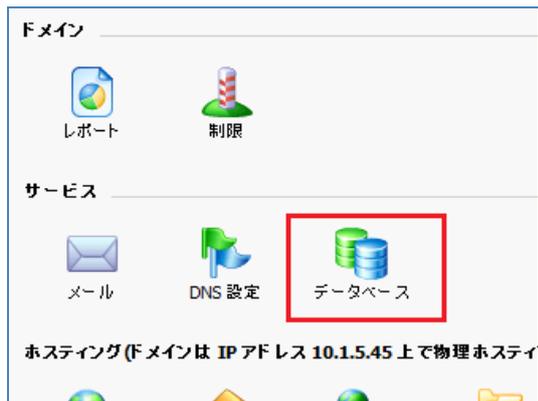
## データベースの操作

### ■ 1. データベースを作成する

ここでは、データベースとデータベースユーザの新規作成、削除の手順を説明します。

#### 1.1 データベースの新規作成

1) データベースを新規作成するためには、まずコントロールパネルの「データベース」アイコンをクリックします。



- 2) 「新しいデータベースの追加」アイコンをクリックします。



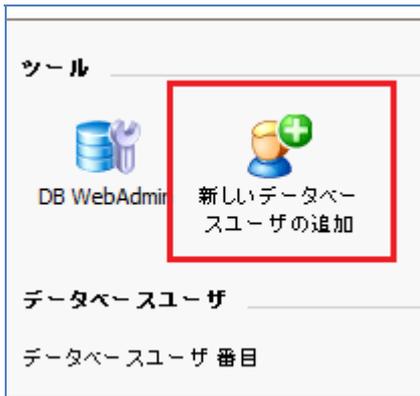
- 3) 作成する「データベース名」とデータベースの種類 (MySQL もしくは PostgreSQL) を選択して、OK ボタンをクリックします。

A screenshot of a dialog box titled '新しいデータベースの追加' (Add New Database). The dialog has a header '新しいデータベースの追加' and a sub-header '新しいデータベースの追加'. Below the sub-header, there are two input fields: 'データベース名 \*' (Database Name) with the value 'demoDB' and 'タイプ' (Type) with a dropdown menu showing 'MySQL'. A red rectangular box highlights these two fields. Below the input fields, there is a label 'データベースサーバ' (Database Server) with the value 'ローカル MySQL サーバ (MySQL のデフォルト)' (Local MySQL Server (MySQL default)). At the bottom left, there is a note '\* 必須フィールド' (Required field).

## 1.2 データベースユーザの新規作成

データベースを使用するためには、そのデータベースにデータベースユーザを追加しておく必要があります。

- 1) データベースユーザを新規作成するには、まず「新しいデータベースユーザの追加」アイコンをクリックします。



2) 作成する「データベースユーザ名」と「パスワード」を入力して、「OK」ボタンをクリックします。

データベースユーザを追加-demoDBデータベース

データベースユーザ

データベースユーザ名 \* test\_user

古いパスワード 無

新しいパスワード \* ●●●●●●

パスワードの確認 \* ●●●●●●

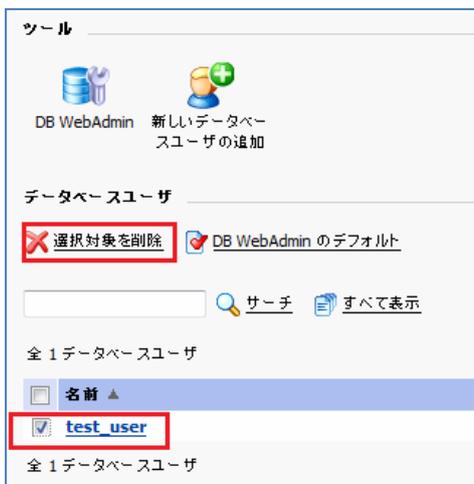
\* 必須フィールド

これで、データベースとデータベースユーザの作成が完了しました。

### 1.3 データベースユーザの削除

データベースユーザを削除したい場合は、以下の手順になります。

1) 削除したいデータベースユーザの行のチェックボックスにチェックを入れ、「選択対象を削除」をクリックします。



2) 削除の確認の画面に移動しますので、「削除の確認」のチェックボックスにチェックを入れ「OK」ボタンをクリックして下さい。



これで、データベースユーザの削除が完了しました。

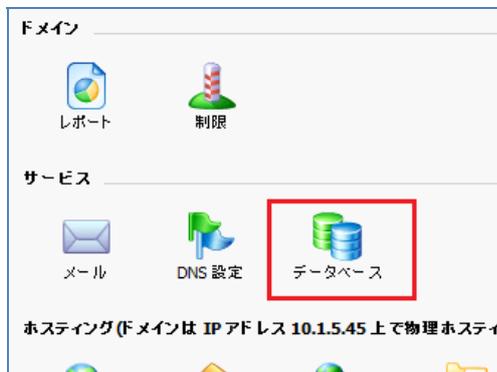
また、上の図の画面は削除するデータベースにデータベースユーザが存在しない場合の画面ですが、データベースユーザが存在している場合にはデータベースユーザごとデータベースが削除されます。

## ■ 2. php My Admin の画面概要

phpMyAdmin とは、 Web ブラウザ上からデータベースを管理するためのソフトです。

phpMyadmin を利用することによって、データベースに関する専門的な知識が無くても、ブラウザから簡単にデータベースの操作を行うことが可能です。ここでは、コントロールパネルで作成したデータベースを phpMyAdmin で管理するための手順を説明します。

- 1) まず、コントロールパネルのホーム画面の「データベース」アイコンをクリックします。



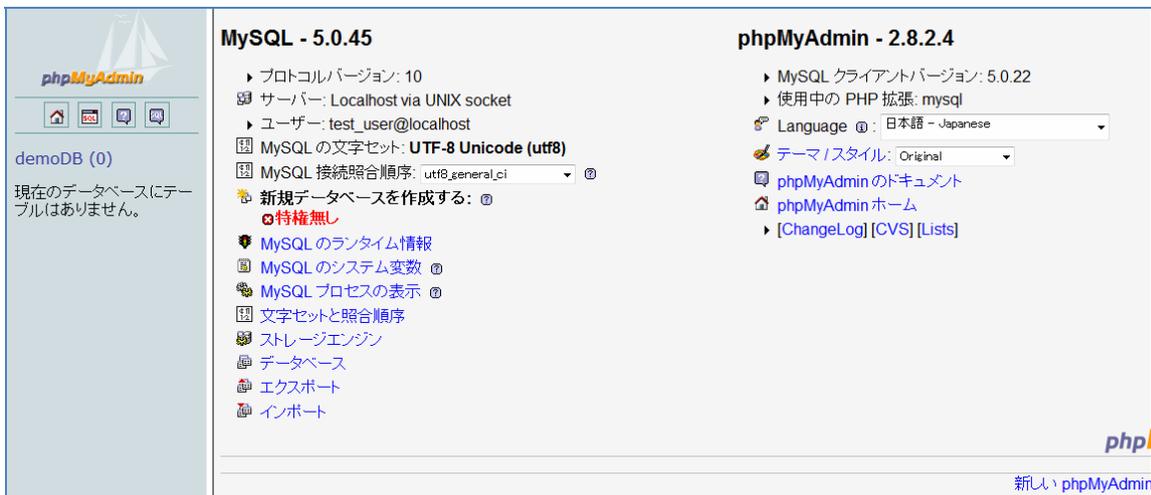
- 2) 管理したいデータベースをクリックします。



- 3) 「DB WebAdmin」アイコンをクリックします。  
(ポップアップブロックされるようでした一時的に許可してください。)



- 4) PHPMYAdmin が立ち上がります。



phpMyAdmin で扱うデータベースは、mysql と呼ばれるものです。mysql については以下のサイトを参考にして下さい。

<http://www.mysql.gr.jp/>

また、phpMyAdmin の利用方法は下記のサイトをご覧ください。

[http://www.phpmyadmin.net/pma\\_localized\\_docs/Documentation\\_ja.html](http://www.phpmyadmin.net/pma_localized_docs/Documentation_ja.html)